

平成21年度
北陸地方建設事業推進協議会

「建設技術報告会」

実施報告書

平成21年12月

北陸地方建設事業推進協議会
「建設技術報告会」実行委員会

目次

1. 開催概要	
1) 目的	1
2) 開催日時	1
3) 開催場所	1
4) 構成と報告時間	2
5) 報告技術のテーマ	2
6) 主催構成機関及び実行委員会構成員	3
7) 聴講者数	4
2. 実施内容	
1) 開会式	6
2) 行政報告	6
3) 技術報告	6
4) 報告技術一覧	7
5) 総評・閉会式	8
6) パネル展示コーナー	9
7) 新技術登録申請相談コーナー	11
8) CPD/CPDS 認証プログラム登録	12
3. 準備及び運営・設営	
1) スケジュール	13
2) 主な経緯	13
3) 運営体制	14
4) 会場設営	15
4. 広報	
1) 広報活動	19
2) 広報掲載状況	19
5. アンケート	
1) 設問内容	28
2) 配布・回収	28
3) アンケート結果概要	29
4) 設問別集計結果	31

1. 開催概要

1) 目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催するもので、平成7年度から開催され、今回で14回目の開催となりました。

2) 開催日時

- 平成21年10月23日（金） 9時00分～17時00分
- 受付 9時00分～ 4階 ホワイエ
- 開会式 9時30分～9時40分 4階 第1会場（マリンホール）
開会挨拶 北陸地方整備局 企画部長 小池 幸男
- 行政報告 9時40分～10時25分 4階 第1会場（マリンホール）
演 題 「入札・契約等の取組み」
講演者 北陸地方整備局 企画部 技術調整管理官 矢田 弘
- 技術報告 10時35分～16時25分
第1会場 4階 マリンホール
第2会場 3階 中会議室301
- 閉会式 16時35分～16時45分 4階 第1会場（マリンホール）
総評、閉会挨拶 「平成21年度建設技術報告会」実行委員長
佐久間 満（北陸地方整備局 北陸技術事務所長）

3) 開催場所

- 使用施設
朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）
住 所：〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6番1号
電 話：025-246-8400
駐車場：施設周辺有料駐車場（施設周辺 大型バス20台、普通車1,500台）
駐車料金は、入場から最初の60分迄無料、以後30分毎に100円。



《交通アクセス》

- ◆新潟 駅 利 用：万代口から路線バスで15分 新潟駅万代ロバスターミナル5番線より新潟交通17系統「朱鷺メッセ経由佐渡汽船行き」に乗り、「朱鷺メッセ」下車 徒歩20分
- ◆自 動 車 利 用：日本海東北自動車道新潟亀田ICより20分、関越・北陸自動車道新潟西ICより30分
- ◆新潟 空 港 利 用：新潟空港よりタクシーで20分

●使用会場

開会式・行政報告・・・・・・・・・・	4階	マリンホール	: 聴講者 407 席 (スクール 63 席、シアター 344 席)
第1会場・閉会式・・・・・・・・・・	4階	マリンホール	: 聴講者 407 席 (スクール 63 席、シアター 344 席)
第2会場・・・・・・・・・・	3階	中会議室 301	: 聴講者 189 席 (スクール 47 席、シアター 142 席)
パネル展示コーナー・・・・・・・・・・	4階	ホワイエ	: 29 技術 (パネル展示)
NETIS 等登録技術コーナー・・・・・・・・	4階	ホワイエ	: 34 技術 (パンフレット配布)
事務局控室・・・・・・・・・・	3階	小会議室 303	
来賓控室・・・・・・・・・・	4階	会議控室 4	

4) 構成と報告時間

行政報告と技術報告会の2部構成とし、技術報告は2会場の分科会方式とした。報告時間は「発表者入替」「プレゼンデータ立ち上げ」を含めて1課題15分とし、各グループの報告終了毎に5分間の質疑・応答時間を設けた。

5) 報告技術のテーマ

北陸地方の建設技術の基本課題のテーマ(5テーマ)に「その他」を含めた6テーマの分類により、合計36題の技術報告を行った。

①雪に強い地域づくり

(克雪対策、冬期道路交通安全確保・安全性に関する新技術等)

②良いものを安く

(生産性向上、コスト削減、省力化に関する新技術等)

③自然災害からの安全確保

(危機管理、土石流などの防災に関する新技術等)

④環境の保全と創造

(建設副産物、リサイクル、省エネルギーに関する新技術等)

⑤ゆとりと福祉

(情報化、バリアフリーに関する新技術等)

⑥その他

(上記のテーマ①～⑤に属さない新技術等)

【テーマ別報告技術数】

テーマ	報告技術
① 雪に強い地域づくり	4
② 良いものを安く	12
③ 自然災害からの安全確保	7
④ 環境の保全と創造	11
⑤ ゆとりと福祉	0
⑥ その他	2
計	36

6) 主催構成機関及び実行委員会構成

■主催構成機関

北陸地方建設事業推進協議会「平成 21 年度 建設技術報告会」実行委員会

以下に実行委員会構成機関（22 機関）を示す。

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路(株)新潟支社 中日本高速道路(株)金沢支社／(社)日本土木工業協会北陸支部 (社)日本道路建設業協会北陸支部／(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部 (社)日本建設機械化協会北陸支部／(社)新潟県建設業協会／(社)富山県建設業協会 (社)石川県建設業協会／北陸土木コンクリート製品技術協会 (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸P C防雪技術協会 新潟県融雪技術協会／(財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会 (社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(社)北陸建設弘済会

■実行委員会構成

役員	所属	役職	備考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
副委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課長	
委員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課長	
委員	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	会計監査員
委員	富山県 土木部 建設技術企画課	技術指導係長	
委員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	課長補佐	
委員	新潟市 工事検査センター	次長	
委員	東日本高速道路(株) 新潟支社 総合調整部 技術企画課	課長代理	
委員	中日本高速道路(株) 金沢支社 総務企画部 企画調整チーム	サブリーダー	
委員	(社)日本土木工業協会 北陸支部	副幹事	
委員	(社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委員	(社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報委員長	
委員	(社)日本建設機械化協会 北陸支部	普及部会委員	
委員	(社)新潟県建設業協会	契約制度部長	
委員	(社)富山県建設業協会	常務理事	
委員	(社)石川県建設業協会	参与	
委員	北陸土木コンクリート製品技術協会	技術委員長	
委員	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	事務局長	
委員	北陸P C防雪技術協会	事務局長	
委員	新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委員	(財)新潟県建設技術センター	企画部長	
委員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委員	(社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委員	(社)北陸建設弘済会	事業調査室長	

7) 聴講者数

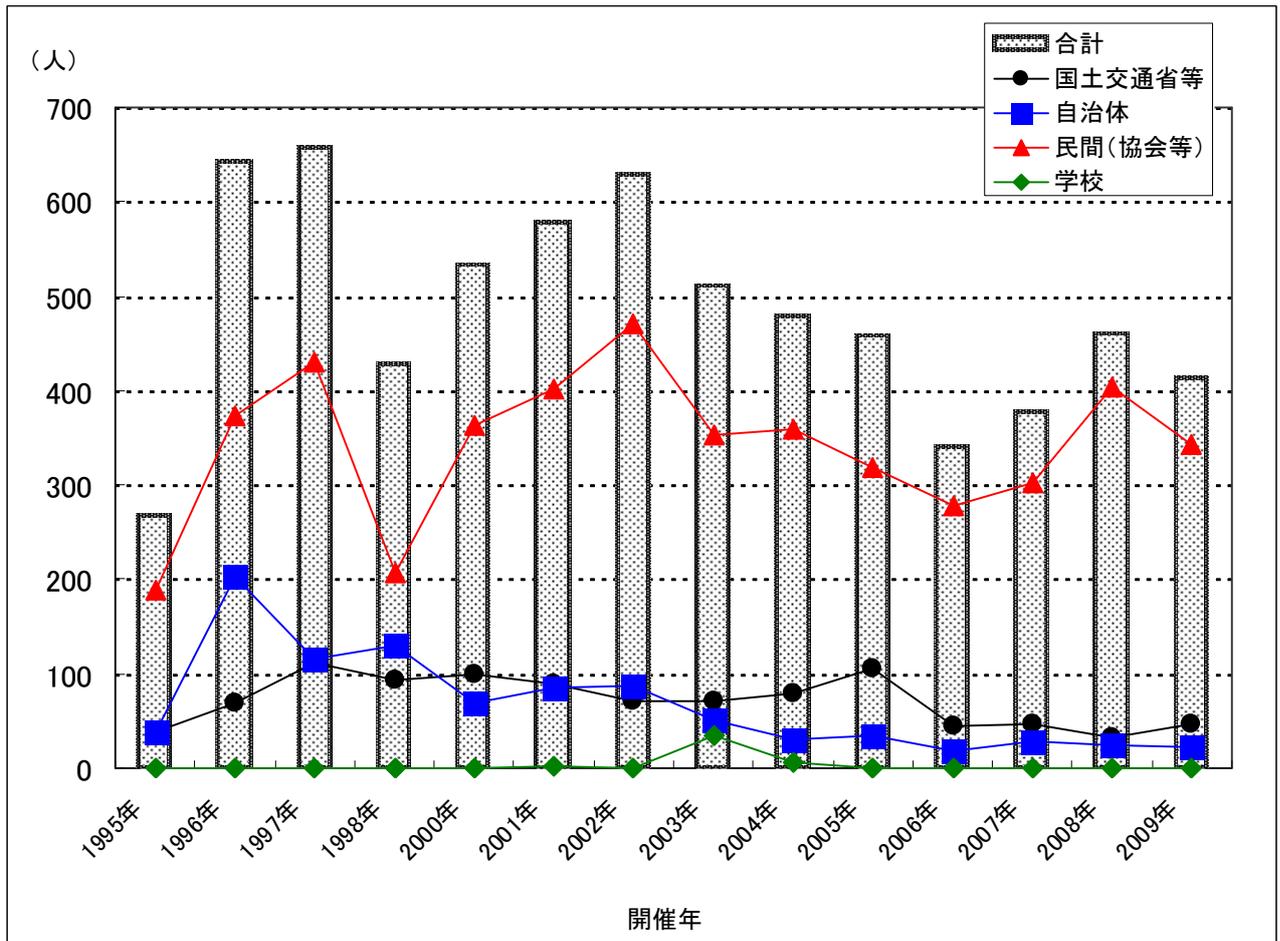
本報告会の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりである。

〔平成 21 年度建設技術報告会〕 聴講者集計表

機関名		申込		実績	
国土交通省	北陸地方整備局	28	28	47	47
	他地方整備局	0		0	
その他省庁・公団	その他省庁・公団	0		0	
自治体関係	新潟県	3	8	5	9
	新潟県 市町村	5		4	
	富山県	1	2	1	2
	富山県 市町村	1		1	
	石川県	1	2	1	2
	石川県 市町村	1		1	
	長野県	0		0	
	福島県	0		0	
	山形県	0		0	
	新潟市	7		10	
	小計		47		70
協会等：主催	東日本高速道路(株)	4		4	
	中日本高速道路(株)	0		0	
	(社)日本土木工業協会	37		23	
	(社)日本道路建設業協会	84		56	
	(社)建設コンサルタンツ協会	3		2	
	(社)日本建設機械化協会	24		13	
	(社)新潟県建設業協会	53		42	
	(社)富山県建設業協会	0		0	
	(社)石川県建設業協会	0		0	
	北陸土木コンクリート製品技術協会	5		5	
	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	6		2	
	北陸PC防雪技術協会	4		1	
	新潟県融雪技術協会	9		7	
	(財)新潟県建設技術センター	2		2	
	北陸地質調査業協会	4		1	
	(社)日本埋立浚渫協会	37		30	
	(社)北陸建設弘済会	26		23	
小計		298		211	
協会等：その他	(社)日本測量協会	0		0	
	(社)建設電気技術協会	1		1	
	(財)先端建設技術センター	0		0	
	(財)河川情報センター	0		0	
	(社)雪センター	0		0	
	(財)道路保全技術センター	0		0	
	(財)ダム技術センター	0		0	
	(財)ダム水源池環境整備センター	0		0	
	(財)リバーフロント整備センター	0		0	
	(財)砂防・地すべり技術センター	0		0	
	(財)日本建設情報総合センター	0		0	
	(財)経済調査会 北陸支部	0		0	
	(財)国土開発研究センター	0		0	
	一般 (加入協会不明を含む)	72		90	
小計		73		91	
学校	0		0		
報道	0		5		
発表者	36		36		
小計		36		41	
(官 公 庁 合計)		47		70 (16.9%)	
(民 間 合計)		407		343 (83.1%)	
合計		454		413	

■ 「建設技術報告会」聴講者数の推移

〈「建設技術報告会」聴講者数（第1回～第14回）〉



開催年	1995年	1996年	1997年	1998年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
内訳														
国土交通省等	39	68	112	94	100	89	72	72	80	105	45	47	33	47
自治体	39	202	116	129	69	86	87	50	31	34	18	29	24	23
民間(協会等)	189	373	430	206	364	401	471	354	360	319	278	302	404	343
学校	0	0	0	0	0	3	0	35	7	0	0	0	0	0
合計	267	643	658	429	533	579	630	511	478	458	341	378	461	413
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	新潟市	金沢市	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市

注) 1. 発表者及び報道関係者は、「民間(協会等)」に含む。
 2. 「自治体」には、市町村関係者を含む。



第1会場



第2会場

2. 実施内容

1) 開会式

時 間： 9時30分～9時40分
会 場： 4階 マリンホール
開会挨拶： 北陸地方整備局 企画部長 小池 幸男
司 会： 北陸技術事務所 副所長 柴澤 一嘉



2) 行政報告

時 間： 9時40分～10時25分
会 場： 4階 マリンホール
演 題： 「入札・契約等の取組み」
開会挨拶： 北陸地方整備局 企画部
技術調整管理官 矢田 弘
司 会： 北陸技術事務所 副所長 柴澤 一嘉



3) 技術報告

時 間： 10時35分～16時25分
会 場： 第1会場 4階 マリンホール 18技術
第2会場 3階 中会議室 301 18技術
司 会： 第1会場 北陸地方整備局 施工企画課 課長補佐 石田 正樹
(社)日本土木工業協会〔鹿島建設株〕 青柳 孝義
第2会場 北陸地方整備局 港湾空港部
海洋環境・技術課 課長補佐 高橋 信幸
(社)日本道路建設業協会〔鹿島道路株〕 丹羽 吉正

第1会場実施状況



第2会場実施状況



4) 報告技術一覧

主催機関・団体別の報告技術は以下の36技術である。

〈報告技術一覧（機関・団体別）〉

機関・団体名	テーマ番号	報告技術名	会社・機関・部署等
国土交通省	③	道路トンネル無人調査ユニットの開発	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 施工調査課
新潟県	③	「土砂災害危険度情報」自動配信システムの構築	新潟県 土木部砂防課企画調査係
(社) 日本土木工業協会 北陸支部	②	岸壁を供用しながら改良・補強できる新工法「2段タイ材地下施工法」	㈱大林組 東京本社 生産技術本部都市土木技術部
	②	PP工法（RC橋脚巻立て補強工法）	㈱加賀田組 営業事業本部 技術企画推進部
	②	繊維シートを用いたはく落防止技術（T-FREG）	佐藤工業㈱ 技術研究所
	②	ボックスカルバートの横送りを安く、早く、精度良く施工する。	㈱丸山工務所 土木部
	③	供用中の橋梁における補強工事実績	鹿島建設㈱ 北陸支店 揚川橋JV工事事務所
	③	静的締固め砂杭工法（SAVE コンポーザー工法）による河川堤防の液状化対策事例報告	㈱不動テトラ 北陸支店研究室
	④	折板屋根対応型軽量緑化パネル工法による屋上緑化について	㈱植木組 本社 環境エンジニアリング部
	④	ハーモニカ工法	大成建設㈱ 技術センター 土木技術開発部
(社) 日本道路建設業協会 北陸支部	⑥	地山状況に応じた全断面早期閉合の仕様の選定	西松建設㈱ 北陸支店 七尾トンネル出張所
	①	オールシーズン型環境舗装の効果	㈱ガイアートT・K 技術研究所
	①	機能性SMAの路面テクスチャに着目した凍結抑制舗装「ザベック工法タイプS」	世紀東急工業㈱ 技術研究所
	①	凍結抑制機能の付与を目的としたゴム粒子散布接着工法（ラバーパック）の開発	大林道路㈱ 技術研究所 材料研究室
	②	ランブルストリップスの交通安全対策としての効果	㈱NIPPON 北信越支店技術グループ
	②	LRT軌道の施工事例と課題について	日本道路㈱ 北信越支店営業部
	②	新潟県立野球場（仮称）フィールド工事における情報化施工の取り組み	丸運建設㈱ 舗道部
	④	10年供用後の実路における路上路盤再生工法（SKS工法）の供用性について	鹿島道路㈱ 技術研究所
	④	トンネル坑口の騒音対策としてサイレントエコパネルの提案	㈱ガイアートT・K 本社新事業部
	④	アスファルト混合物の中温化剤「エコペープ」	東亜道路工業㈱ 北陸支社 技術部
④	加熱表面処理工法の供用性とライフサイクルに関する検討	福田道路㈱ 技術研究所	
(社) 建設コンサルタンツ協会 北陸支部	⑥	スリングラムEM探査による河川堤防の地盤構造調査	川崎地質㈱ 事業本部 保全グループ
(社) 日本建設機械化協会 北陸支部	②	プレキャストRC版による踏掛版の施工	プレキャストRC版舗装協会 (福田道路㈱)

機関・団体名	テーマ 番号	報告技術名	会社・機関・部署等
北陸土木コンクリート 製品技術協会	②	「大型残存型枠 AKYパネル」の開発 について	(株)アドヴァンス 企画開発部
	②	パイプレス消雪ブロックの開発	(株)アドヴァンス 企画開発部
	③	マンホール浮上防止対策工法 WIDE セフティパイプ工法	藤村ヒューム管(株) 開発部
	③	既設管きょとマンホール接続部の耐震化技 術 マグマロック工法NG J	藤村ヒューム管(株) 開発部
(社)プレストレスト・ コンクリート建設業協会 北陸支部	②	H型PC杭を適用した連続地中壁工法 の開発	(株)ピーエス三菱 本社 土木本部 基礎部 基礎グループ
	④	袋詰脱水処理工法におけるSPAD システム	(株)ピーエス三菱 技術研究所
新潟県融雪技術協会	①	KVSストレーナの開発と施工事例	(株)興和 水工部
	④	排水性舗装冷却システム	(株)興和 水工部
(社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	③	ダム堆砂除去装置の開発	東亜建設工業(株) 土木事業本部 機電部
	④	太陽光を独立活用した水環境改善装置 の開発	(株)本間組 土木事業本部土木部
	④	カキ殻を活用した屋上緑化工法 折板屋根への応用	(株)本間組 建築事業本部企画設計部
その他	②	合理的な鉄筋挿入工ののり面工をもとめて	(株)ジオデザイン
	④	自生型飛砂防止緑化工法はまみどりの 開発と効果の検証	グリーン産業(株) 調査設計部

技術報告テーマ： ①雪に強い地域づくり、②良いものを安く、③自然災害からの安全確保
④環境の保全と創造、⑤ゆとりと福祉、⑥その他

5) 総評・閉会式

時 間： 16時35分～16時45分

会 場： 4階 マリンホール

総評・閉会挨拶：「建設技術報告会」実行委員長 佐久間 満
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

司 会： 北陸技術事務所 副所長 柴澤 一嘉



なお、聴講者の方々に、特に現場で採用してみたい技術や興味を持った技術、関心の高かった技術をアンケートでお聞きしたところ、以下の技術に興味を示されていました。

- アスファルト混合物の中温化剤「エコペーブ」(東亜道路工業(株) 北陸支社 技術部)
- 自生型飛砂防止緑化工法はまみどりの開発と効果の検証(グリーン産業(株) 調査設計部)
- マンホール浮上防止対策工法 WIDE セフティパイプ工法(藤村ヒューム管(株) 開発部)
- PP工法(RC橋脚巻立て補強工法)(株)加賀田組 営業事業本部 技術企画推進部)
- オールシーズン型環境舗装の効果(株)ガイアートT・K 技術研究所)

6) パネル展示コーナー

時 間： 9時00分～16時30分（会期中常設）
 会 場： 4階 ホワイエ

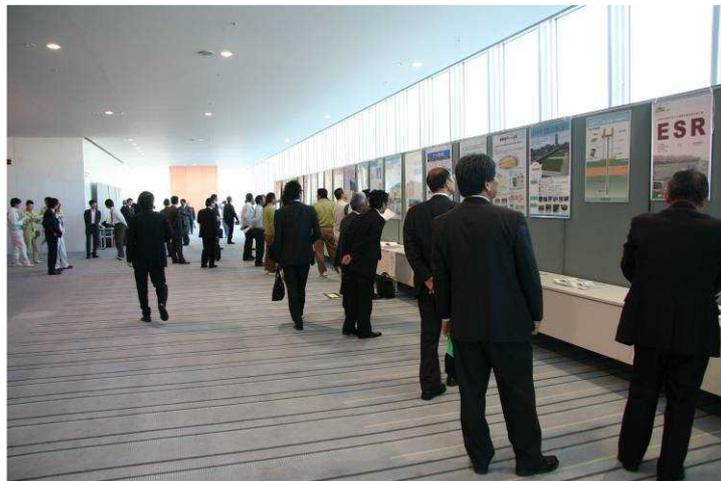
本報告会主催傘下会社で開発された新技術を対象に、パネル展示コーナーを併設した。
 なお、パネル展示は展示希望を募り、展示希望のあった 29 技術のパネル展示及びパネル展示技術の紹介パンフレットの配布を行った。

〈パネル展示技術一覧表〉

技術名	会社・部署名	パンフ
新技術情報提供システム(NETIS)	北陸技術事務所	0
Made in 新潟新技術普及・活用制度	新潟県 土木部 技術管理課	0
石川県建設新技術認定・活用制度	石川県 土木部 監理課	0
軽量緑化パネル工法「プチガーデン」	(株)植木組 本社 環境エンジニアリング部	2
歴史的建造物の曳き家工事・免震化工事	(株)熊谷組 北陸支店土木事業部	1
マルチジェット工法	前田建設工業(株) 北陸支店 新潟営業所	2
ESR工法	新潟県土質改良事業協同組合	1
5成分コーン(SCPT)調査方法	(株)日さく 北信越支社地盤調査部	1
カキ殻を活用した屋上緑化	(株)本間組 土木事業本部 技術部	1
真空圧密ドレーン工法	五洋建設(株) 北陸支店 土木営業部	1
鋼製パネル仮締切工法	(株)大林組 北陸支店 営業第二部	1
アマモ場の再生	大成建設(株) 北信越支店 土木部 技術室	1
スリングラムEM探査による河川堤防の地盤構造調査	川崎地質(株) 事業本部保全グループ	1
袋詰脱水処理工法におけるSPADシステム	(株)ピーエス三菱 技術研究所	2
マジックボール	東亜建設工業(株) 北陸支店 土木事業部 技術課	1
コンクリート構造物の断面修復乾式吹付け工法	第一建設工業(株) コンクリート事業部	1
切削型注意喚起型舗装ランブルストリップス	(株)NIPPO 北信越支店技術グループ	1
CFA工法(SKS工法)	鹿島道路(株) 北陸支店工事部技術課	1
ルビット舗装	大林道路(株) 本店・エンジニアリング部	1
グレーチングストッパーSP	丸運建設(株) 舗道部	3
カキ殻景観舗装	本間道路(株) 技術部技術課	1
パイロメントペープ	(株)ガイアートT・K 北陸支店営業部	1
エコペープ	東亜道路工業(株) 北陸支社 技術部	1
セミプレファブ工法	日本道路(株) 北信越支店営業部	1
瓦ダスト舗装(サーモスカラー)	(株)佐藤渡辺北陸支店 営業部	1
コンクリート舗装版下層敷ならし機スクルーペーバ	福田道路(株) 新潟本店	1
プレキャストRC版	新和コンクリート工業(株)	1
パイプレス消雪ブロック	(株)アドヴァンス 企画開発部	1
H型PC杭	(株)ピーエス三菱 本社 土木本部 基礎部 基礎グループ	1
29		31

〈パンフレットのみの配布技術〉

技術名	会社・部署名	パンフ
SRC路盤材	株式会社山隆組 汚泥リサイクルセンター	2
小型平面切削機	ヒートロック工業株式会社 開発事業部	5
環境に安全な無機系固化材	株式会社エコ・プロジェクト 営業部	2
ロープ付鉄筋挿入工法	株式会社ジオデザイン	1
海岸等砂地の飛砂防止緑化工法「はまみどり」	グリーン産業株式会社 調査設計部	1
汚濁泥水処理工法（SRAS工法）	（有）パナトーン新潟 システム事業本部	1
増幅機構付油圧制震ブレース	上越工業（株） 耐震推進室	2
7		14



パネル展示状況



パンフレット配布状況

7) NETIS等登録技術のパンフレット配布による技術紹介コーナー

時 間： 9時00分～16時30分（会期中常設）
 会 場： 4階 ホワイエ

新技術情報提供システム（NETIS）及び Made in 新潟等の登録技術を対象にパンフレット配布による技術紹介コーナーを併設した。なお、パンフレットは配布希望を募り、希望のあった 34 技術の紹介パンフレットを配布した。

〈NETIS等登録技術パンフレット配布 一覧表〉

技術名	NETIS登録番号	会社・部署名
EM探査による堤防の質的調査	HR-040013-A	川崎地質(株) 事業本部保全グループ
フレックス笠コンブロック	HR-990108-V	(株)アドヴァンス 企画開発部
連結空積ブロック「ふる里」	HR-020013-A	(株)アドヴァンス 企画開発部
スーパーグラストン	HR-080026-A	(株)アドヴァンス 企画開発部
袋詰脱水処理工法	KT-020065-V	(株)ピーエス三菱 技術研究所
AGF-WOO工法	HR-050012-A	(株)熊谷組 北陸支店 土木事業部
コンクリート構造物の断面修復乾式吹付け工法	CB-020040-A 18D1027	第一建設工業(株) コンクリート事業部
3次元情報とαシステムによる情報化施工	KT-050054-V	前田建設工業(株) 北陸支店 新潟営業所
ハイ・イータス工法	KT-050098-A	前田建設工業(株) 北陸支店 新潟営業所
ルビット舗装	KT-990006-A	大林道路(株) 本店・エンジニアリング部
グレーチングストッパー	HR-030035-A	丸運建設(株) 舗道部
グレーチングストッパーSP	HR-050026-A	丸運建設(株) 舗道部
カキ殻景観舗装	HR-060019-A	本間道路(株) 技術部技術課
L・Lライン	HK-080012-A	鹿島道路(株) 北陸支店工事部技術課
ザツソレス	KT-050065-A	(株)佐藤渡辺北陸支店 営業部
遮水型排水性舗装(POSMAC)	KT-040084-A	東亜道路工業(株) 北陸支社 技術部
パーフェクトシーダー	TH-000013-A	(株)NIPPO 北信越支店技術グループ
クールパービラス	TH-020057-A	(株)NIPPO 北信越支店技術グループ
ストリートプリント	KT-980120-A	(株)NIPPO 北信越支店技術グループ
アンダーコートパービラス	KT-070104-A	(株)NIPPO 北信越支店技術グループ
完全付着型コンクリートオーバーレイ工法	HK-070007-A	日本道路(株) 北信越支店営業部
シャットファルト	SK-040008-A	日本道路(株) 北信越支店営業部
アメニウレタン舗装	TH-990054-V	日本道路(株) 北信越支店営業部
H型PC杭	KT-040028-A	(株)ピーエス三菱 本社 土木本部 基礎部 基礎グループ
ユニバーサルデザイングレーチング	HR-030002-A 18D2002	(株)カワグレ 企画開発
組立集水井筒(シールド式)	HR-030016-A	(株)アドヴァンス 企画開発部
大型残存パネル	HR-070014-A	(株)アドヴァンス 企画開発部
軽量緑化パネル工法	HR-050031-A	(株)植木組 本社 環境エンジニアリング部
SIMAR工法	TH-990039-A	前田建設工業(株) 北陸支店 新潟営業所
トゥーリフレッシュシステム	HR-990011-A	(株)本間組 土木事業本部 技術部
バックホウを使った木質チップ吹付け工	HR-080013-A	(株)葦和土建
ロープ付鉄筋挿入工法	HR-060003-A 18D1009	(株)ジオデザイン
海岸等砂地の飛砂防止緑化工法「はまみどり」	HR-060022-A 18D1031	グリーン産業(株) 調査設計部
増幅機構付油圧制震ブレース	18K2004	上越工業(株) 耐震推進室
34		

8) CPD/CPDS 認証プログラム登録

社会資本整備に携わる技術者の技術力向上の場として、この報告会を積極的に活用していただくため、RCCM 登録更新時における CPD（継続教育）制度並びに土木施工管理/継続学習制度（CPDS）制度の認定プログラムの申請を平成 20 年度より行っており、平成 21 年度も引き続き CPD/CPDS の学習プログラムに認証をいただくことにより 155 名の技術者に受講証明を発行した。

※平成 20 年度受講証明数：139



受講証明配布状況



CPD/CPDS 受講案内状況

3. 準備及び運営・設営

1) スケジュール

平成 21 年度「建設技術報告会」は、下記のとおり実施した。

北陸地方建設事業推進協議会「平成21年度 建設技術報告会」運営スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
実行委員会等											
北陸地方建設事業推進協議会 運営委員会	● 3月24日(火)										
実行委員会事前準備			■						■		
実行委員会			● 5月22日(金)							● 12月18日(金)	
協議・決定事項等			<ul style="list-style-type: none"> 運営要領(案)の協議・承認 実施計画(案)の協議・承認 予算(案)の協議・承認 							<ul style="list-style-type: none"> 実施状況報告 決算報告 	
報告技術募集及び原稿作成等											
案内原稿作成(チラシ)			■			■					
ホームページ開設・運営			■	■			■	■	■	■	
報告技術募集・取りまとめ (主催機関)			■	■							
報告技術検討・選定				■	■						
採否通知					●						
報告論文原稿作成・提出 (報告技術発表者)					■	■					
プレゼンデータ作成・提出 (報告技術発表者)					■	■					
パネル展示募集・取りまとめ (主催機関)			■	■							
NETIS登録技術パンフレット配布募 集・取りまとめ(事務局)			■	■							
聴講募集(主催機関等)							■	■	■		
報告論文集編集						■				■	
その他											
記念講演者依頼・報道投込み			■	■					●		
報告会開催									●		

2) 主な経緯

会議名等	実施日	会場	内容
平成21年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成21年3月24日(火) 14時00分～16時00分	北陸地方整備局 4階 会議室	建設技術報告会の開催承認
平成21年度「建設技術報告会」 第1回実行委員会	平成21年5月22日(金) 13時30分～15時00分	北陸地方整備局 北陸技術事務所 1階 会議室	運営要領(案)の協議・承認 実施計画(案)の協議・承認 予算(案)の協議・承認
平成21年度「建設技術報告会」	平成21年10月23日(金) 9時00分～17時00分	朱鷺メッセ 4階 マリンホール 3階 中会議室301	報告会開催
平成21年度「建設技術報告会」 第2回実行委員会	平成21年12月18日(金) 11時00分～12時00分	北陸地方整備局 4階 会議室	実施結果報告 決算報告 次回の開催について

3) 運営体制

報告会当日は、主催構成機関・団体からの運営スタッフ 30 名（官：15 名、民：15 名）の協力により実施した。

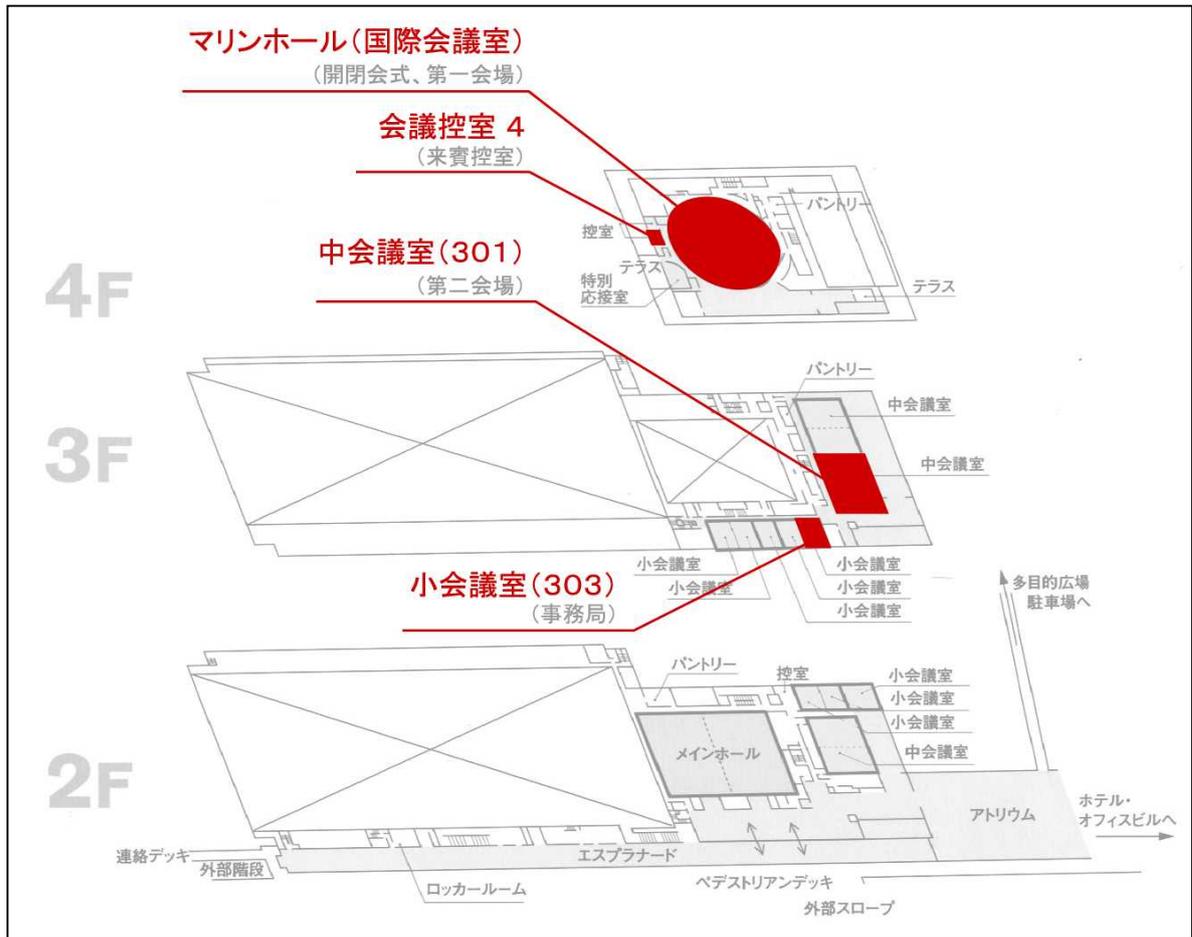
(運営体制表)

係名(役割等)		時間(概略)	人数	共 通	第1会場	第2会場	
受付係	聴講 受付開始 ↓ 行政報告終了	9:00~10:25	12	■新潟県 相羽 幸一 ■新潟市 山口 克雄 ■新潟県建設業協会 大関 真 ■日本土木工業協会 江口 美津江 ■日本道路建設業協会 木村 智子 ■日本建設機械化協会 上村 弘 ■新潟県 高橋 英一 ■新潟市 伊藤 智雄 ■新潟県建設業協会 加藤 大介 ■日本土木工業協会 佐藤 睦子 ■日本道路建設業協会 本望 里美 ■日本建設機械化協会 青木 鉄朗			
		10:25~16:45	3	■新潟県 相羽 幸一 ■日本道路建設業協会 木村 智子 ■日本土木工業協会 江口 美津江			
	CPD/CPDS	受付開始 ↓ 閉会式終了	9:00~17:00	2	■北陸地方整備局 藤本 祐文 ■新潟港湾空港技術調査事務所 名畑 浩二		
		報告終了 ↓ 閉会式終了	16:45~17:00	3	■北陸地方整備局 石田 正樹 谷澤 俊夫 高橋 信幸		
技術報告	司 会 係	10:35~14:15	4		■北陸地方整備局 石田 正樹 ■日本土木工業協会 青柳 孝義	■北陸地方整備局 高橋 信幸 ■日本道路建設業協会 丹羽 吉正	
		14:15~16:25			■新潟市 山口 克雄 ■北陸地方整備局 谷澤 俊夫	■新潟県 高橋 英一 ■新潟市 伊藤 智雄	
	時間管理係	10:35~16:25	2		■新潟県建設業協会 大関 真 ■日本建設機械化協会 上村 弘	■新潟県建設業協会 加藤 大介 ■日本建設機械化協会 青木 鉄朗	
	パソコン係	10:35~16:25	2		■日本土木工業協会 佐藤 睦子 ■日本埋立浚渫協会 佐々木 学	■日本道路建設業協会 本望 里美 ■日本埋立浚渫協会 安藤 敏宏	
	マイク受渡係	10:35~16:25	4				
	会場照明係	10:35~16:25	2				
事務局	開会式司会 行政報告司会 閉会式司会	9:30~9:40	1	■北陸技術事務所 柴澤 一嘉			
		9:40~10:25		※司会時以外はマスコミ対応			
	来賓案内	8:40~10:35	1	■北陸地方整備局 石田 正樹			
	連絡調整係	終日	1	■北陸技術事務所 伊藤 満 (適宜マスコミ対応)			
	運営・設営係	終日	6	■北陸技術事務所 森田 義一 岡 大人 ■北陸建設弘済会 齋藤 豊彦 本間 里美	小浦方 一彦 田巻 藤欣		
■北陸技術事務所 佐藤 芳英							
全体写真係 (実施状況・開閉式・行政報告等)	終日	1					

官公庁				実行委員会構成機関・団体								合計
国土交通省 北陸地方整備局				新潟県	新潟市	新潟県建設業協会	日本土木工業協会	日本道路建設業協会	日本建設機械化協会	日本埋立浚渫協会	北陸建設弘済会	
企画部 施工企画課	港湾空港部 海洋環境・ 技術課	北陸技術 事務所	新潟港湾空 港技術調査 事務所									
4		6	1	2	2	2	3	3	2	2	3	30
15				15								30

4) 会場設営

(1) フロア配置図



第1会場 (マリンホール)



第2会場 (中会議室301)



受付・パネル展示等 (4階ホワイエ)

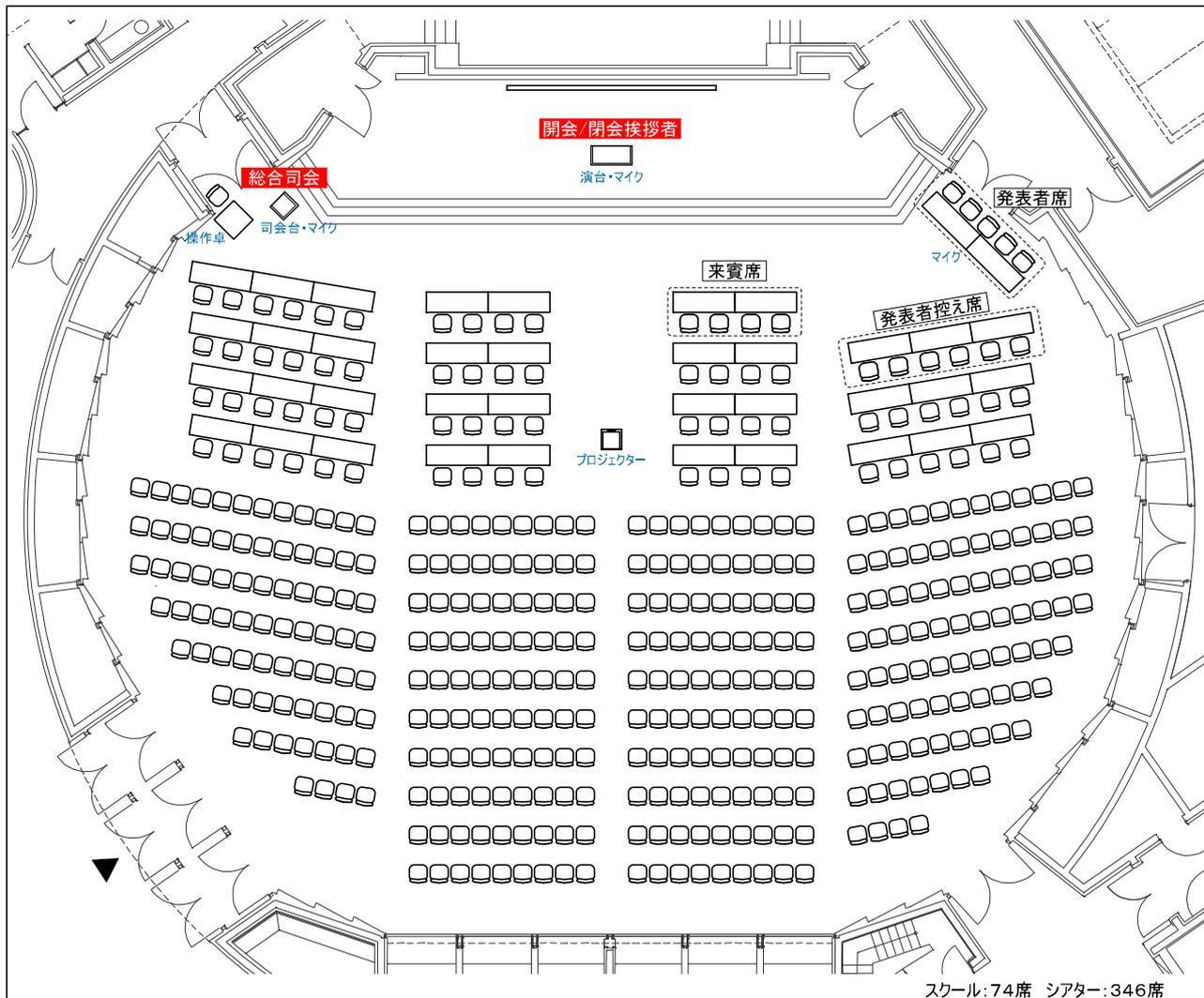


事務局 (小会議室303)

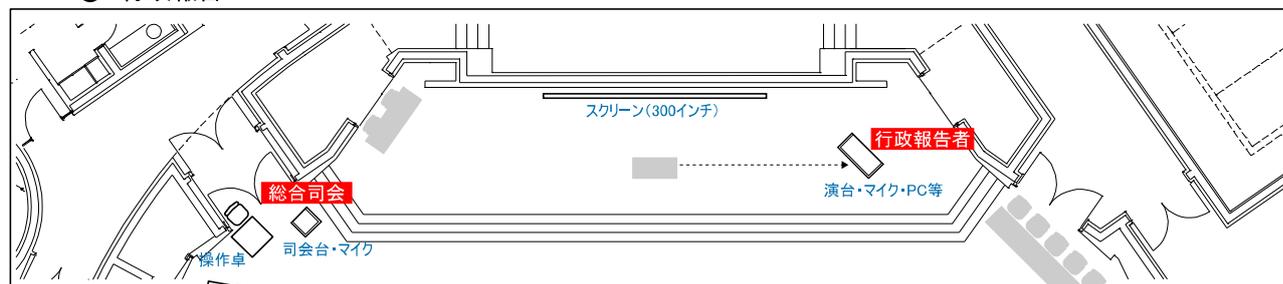
(2) 各会場配置図

■第1会場〔マリンホール（国際会議室）〕

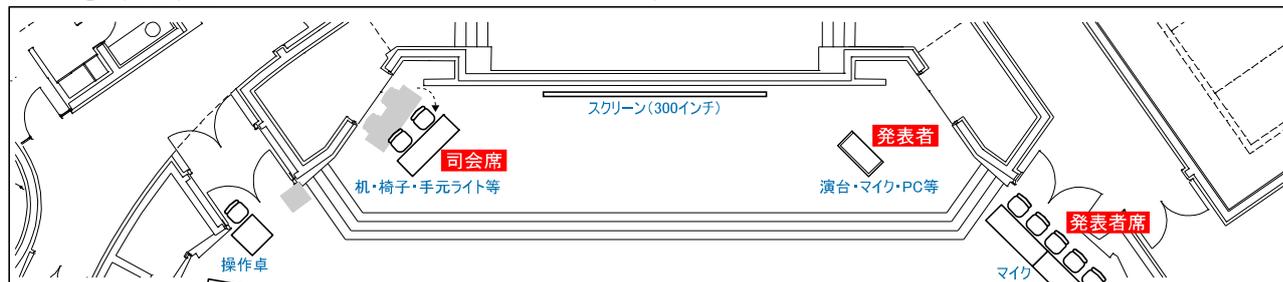
Scene① 開閉会(初期レイアウト図)



Scene② 行政報告

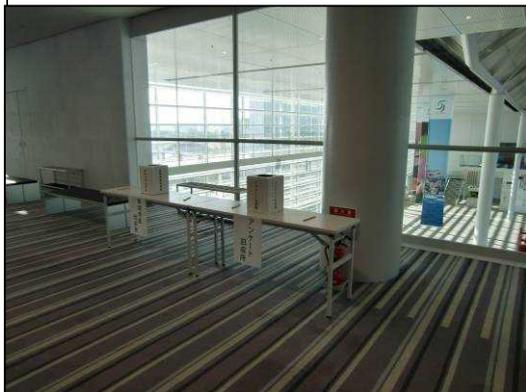
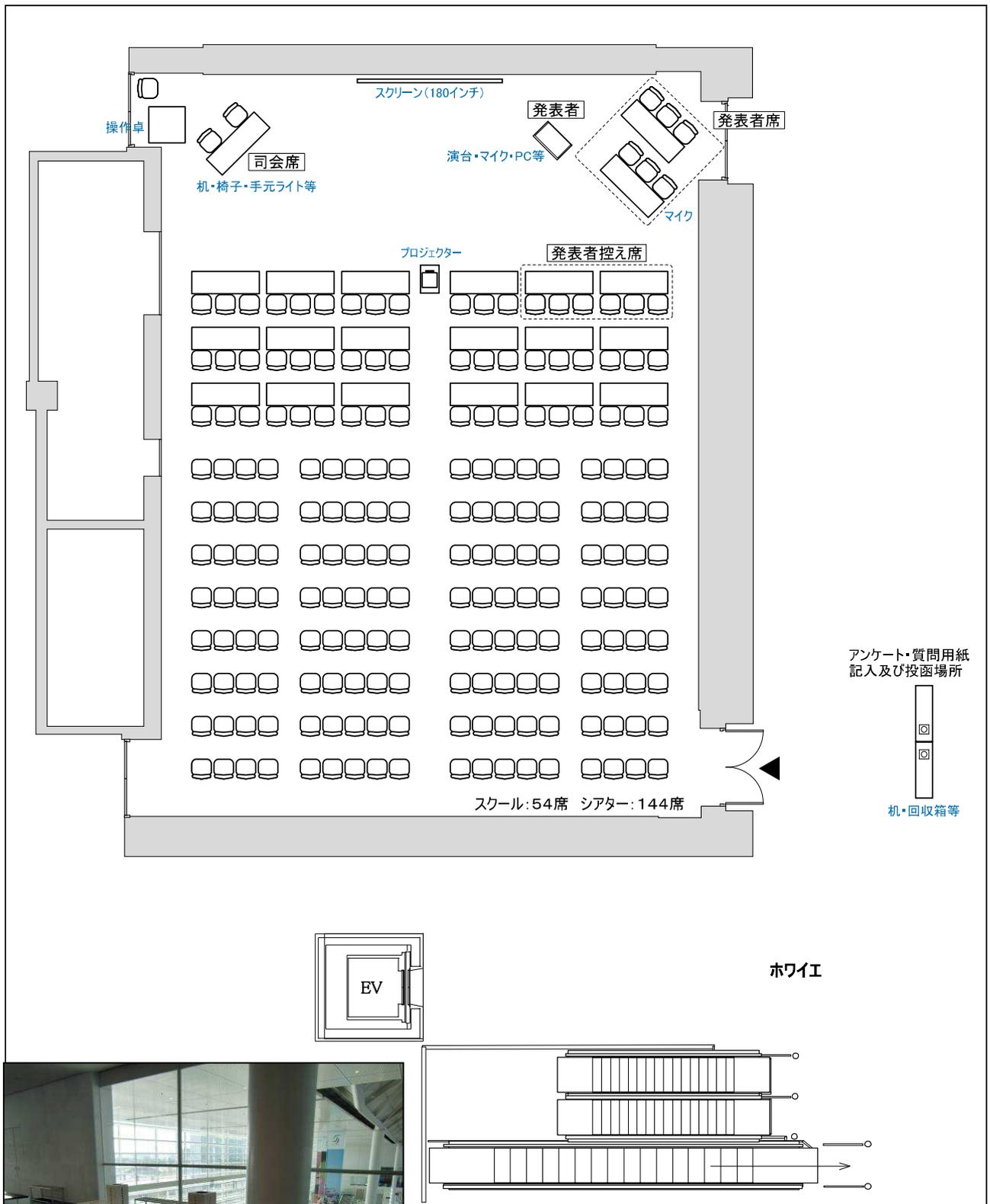


Scene③ 技術報告



■第2会場 [中会議室 (301)]

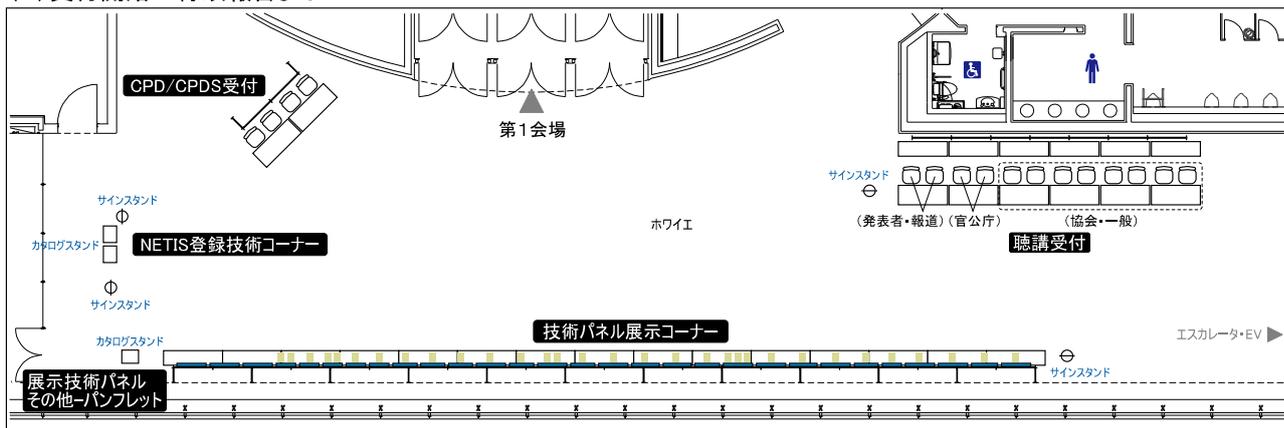
技術報告



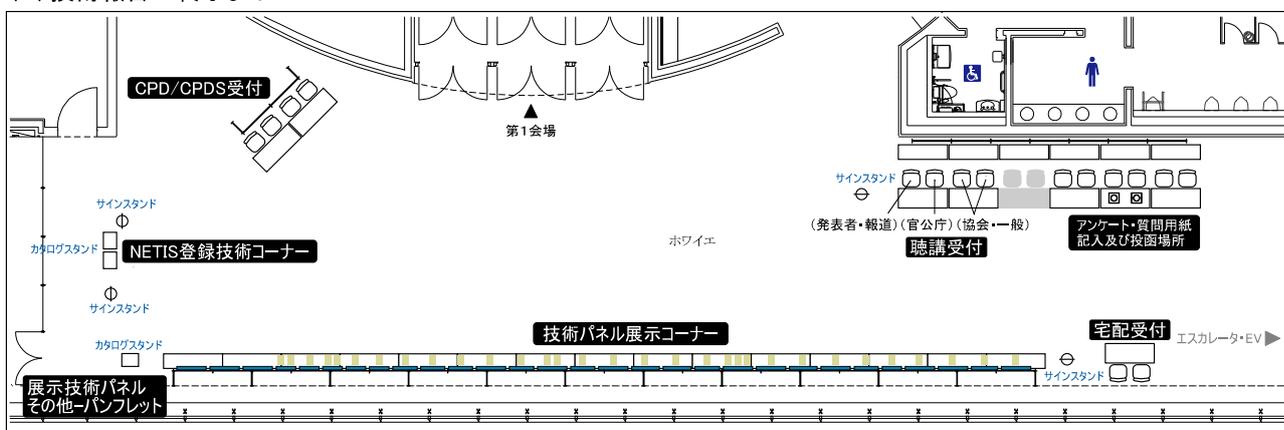
アンケート・質問用紙回収所 (第2会場)

■ 4階ホワイエ [受付・パネル展示コーナー・NETIS 登録技術コーナー]

(1) 受付開始～行政報告まで



(2) 技術報告～終了まで



受付開始～行政報告



技術報告～終了



CPD/CPDS 受講案内



アンケート・質問用紙回収所

4. 広報

1) 広報活動

種別・内容	方法	時期	摘要	
チラシ配布	配布・募集	5月25日～	建設技術報告会実行委員会 主催機関・団体	
		9月8日～	主催機関・団体、市町村 建設関係団体等	
定期刊行誌	掲載依頼	10月号、12月号（掲載予定）		
		適宜		
記者クラブ	記者発表	10月15日	開催概要 プログラム	
				新潟県政記者クラブ
				新潟県政記者クラブ
				富山県政記者クラブ
				石川県政記者クラブ
				山形県政記者クラブ
				長野県政記者クラブ
				福島県政記者クラブ
				岐阜県政記者クラブ
福井県政記者クラブ				
建設専門紙	新潟県、富山県、石川県、山形県、長野県、福島県、福井県			
ホームページ	開設・運用	5月27日～（報告技術募集）		
		9月25日～（聴講募集）		
		10月29日、12月7日～（開催結果）		
		適宜		

2) 広報掲載状況

(1) 新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
建設通信新聞	(株) 日刊建設通信新聞社	平成21年10月26日(月)
新潟建設新聞	日本工業経済新聞社	平成21年10月27日(火)
建設ジャーナル	(株) 建設ジャーナル社	平成21年11月20日(金)
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	平成21年11月30日(月)

(2) 定期刊行誌

掲載誌	発行機関	掲載号
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	9月号、12月号(掲載予定)
ゆう	社団法人日本土木工業協会 北陸支部	11月号
建設の施工企画	社団法人日本建設機械化協会	9月号
北陸だより	社団法人日本道路建設業協会北陸支部	第40号

(3) ホームページ

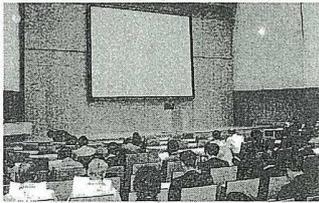
掲載機関	ホームページアドレス	掲載コンテンツ
(社) 日本建設機械化協会 北陸支部	http://www.jcmanet.or.jp/hokuriku/	トップコンテンツ(バナー)
(社) 新潟県建設業協会	http://www.shinkenkyo.or.jp/	新着情報
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	http://www.gicho.pa.hrr.mlit.go.jp/	トップコンテンツ(バナー)
国土交通省北陸技術事務所	http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/	トップコンテンツ(バナー)

建設通信新聞

2009年（平成21年）10月26日（月曜日）

建設技術活用促進へ報告会 36の新技术・工法発表

北陸地方における建設事業 治体などの官公庁、業団体で 空門前に進めるため、官民 構成する北陸地方建設事業推 進協議会の建設技術報告会実 行委員会が10月26日（月）から 27日（火）新潟市中央区の 開催している報告会で、14回 朱鷺メッセで開かれたII写 真、北陸地方整備局、管内自



新技術などが発表された。 開会あいさつで北陸地方整 備局の小池幸男企画部長は 「この建設技術報告会は北陸 地方で新たに開発された新技 術や新工法のほか、活用され た技術情報を行政と民間の技 術者に紹介し、普及を図るこ とを目的に開催している。よ

り良い社会資本整備の推進に 策、経済対策として導入して 当たっては新技術の開発や活 用が不可欠。21、22日に開かれ たけんせつフェアとともに、 この建設技術報告会を契機と し、技術の開発と活用・普及に 取り組んでほしいと述べた。 「雪に強い地域づくり」「目 然災害からの安全確保」「環 境の保全と創造」「ゆとりと 管理官が「入札・契約等の取 組み」と題して、建設工事 における生産性向上に向けた 取り組みを始め、コンサルタ ント業務における品質確保対

この後、民間企業や同局職 員らが「良いものを安く」「 雪に強い地域づくり」「目 然災害からの安全確保」「環 境の保全と創造」「ゆとりと 管理官が「入札・契約等の取 組み」と題して、建設工事 における生産性向上に向けた 取り組みを始め、コンサルタ ント業務における品質確保対

新潟建設新聞

2009年（平成21年）10月27日（火曜日）(2)



小池企画部長



6つのテーマで新技術を発表（23日、朱鷺メッセ）

北陸地方において民間 企業や官公庁が新たに研 究開発した新技術・新工 法を披露する。平成21年 度建設技術報告会」が23 日、新潟市中央区万代島 の朱鷺メッセ開かれた。 開会にあたり北陸地方 整備局の小池幸男企画部 長は「より良い社会資本 の整備推進にあたっては、 新しい技術の開発が必要 不可欠。前回の内容と比 べると、環境の保全と創 造といった今日的に重要 なテーマが増えている。 同技術報告会を契機に、さらに開発普及が図

21年度建設 36の新技术を發表
生産性向上など課題で

北陸地方において民間 企業や官公庁が新たに研 究開発した新技術・新工 法を披露する。平成21年 度建設技術報告会」が23 日、新潟市中央区万代島 の朱鷺メッセ開かれた。 開会にあたり北陸地方 整備局の小池幸男企画部 長は「より良い社会資本 の整備推進にあたっては、 新しい技術の開発が必要 不可欠。前回の内容と比 べると、環境の保全と創 造といった今日的に重要 なテーマが増えている。 同技術報告会を契機に、 さらに開発普及が図

業務ともに84%、補正予 算分については工事費が40 %、業務費が35%になった こと報告。 また、早期発注対策と して今年度に取り組んで いる。開札から契約まで の期間短縮、概算数値発 注策などを説明。また、 地元企業活用型総合評価 方式の誘引や、情報化施 工、コンサル業務におけ る総合評価方式の大幅な 拡大、第3者照査の拡大 などの取り組み状況を解 説。工事の件数が減って いるなかで、全国的に生 産性の向上が重要な課題 となっていることを強調 した。

14回目となる今年度は、 ①雪に強い地域づくり② 良いものを安く③自然災 害からの安全確保④環境

の保全と創造ゆとりと」に沿って並題の新技術 福祉⑥その他のテーマが報告された。

建設ジャーナル

2009年(平成21年)11月20日 (毎月20日・30日発行)

21年度建設技術報告会開催

北陸地方建設事業推進協議会

北陸地方建設事業推進協議会

協議会は10月23日に「平成21年度建設技術報告会」を朱鷺メッセにおいて開催し、小池北陸地方整備局企画部長の挨拶に

続き矢田同企画部技術調整管理官が「入札・契約等取組み」と題した行政

報告を行い、その後36の技術報告が2つの会場に分かれて行われた。

発表の技術テーマは4つで、それぞれの技術数は次のとおり。

①雪に強い地域づくり

②良いものを安く②12

③自然災害からの安全確保②7技術

④環境の保全と創造②技術

⑤その他②2技術



技術
③自然災害からの安全確保②7技術
④環境の保全と創造②技術
⑤その他②2技術

日刊建設工業新聞

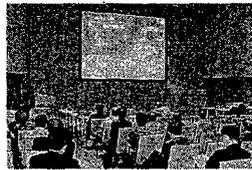
2009年(平成21年)11月30日(月曜日)

建設技術36件報告

北陸整備局

北陸地方整備局はこのほど、新潟市の朱鷺メッセ09年度の建設技術報告会を開いた。写真、報告会では、主に北陸管内の企業が発表した技術を広く紹介し、よりいっそうの普及を目指すことを目的に95年から毎年開いており、今年で14回目となる。

会場では、良いものを安くをテーマにした課題など36技術の発表と29技術のパネル展示が行われた。



発表された36技術は次の通り。

▽道路トンネル無人調査ユニットの開発(北陸整備局北陸技術事務所)
▽供中の橋梁における補修工事(鹿島北陸支店)▽マンホール浮上防止対策工法(藤村ヒューム管)▽静的締め固め砂杭工法による河川堤防の液状化対策事例(不動テトラ)▽ダム堆砂除去ステッキに着目した傾斜抑制工法(東亜建設工業)▽土砂災害危険度情報自動配信システムの構築(新潟県土木部)▽既設管とマンホール接続工法(パーバックス)

合部の耐震化技術(マグマロックス工法(藤村ヒューム管)▽ハイモニカ工法(大成建設))
▽トンネル坑口の騒音対策としてサイレントエコーパネルの提案(分イアイT・K)▽10年供用後の実路における路上盤再生工法(SKS工法)の供用性(鹿島建設)▽アスファルト混合物の中間化剤「エコペーパー」(東亜建設工業)▽加熱表面処理工法の供用性とライフサイクルに関する検討(福田建設)▽排水性舗装冷却システム(興和)▽袋詰脱水処理工法におけるPADシステム(ピーエスエス)▽太陽光を独立活用した水環境改善装置の開発(本間組)
▽折板屋根対応型軽量緑化パネル工法による屋上緑化(積水造)▽カキ工法の折板屋根への応用(本間組)▽自生型飛砂防止緑化工法(藤村ヒューム管)▽オーロルシリンダー型舗装の効果(ガイア・T・K)▽機能性SMAの路面テクニクスに着目した傾斜抑制工法(パルクエ)▽1Fスリット版による傾斜抑制機能の付与を目的としたコム磁石散布工法(パーバックス)

の開発(大林建設)▽KVSスクリューの開発(施工事例(興和)▽スリットラックE.M.検査による河川堤防の地盤構造調査(山崎建設)▽地山状況に応じた土留早期閉鎖の仕様の選定(松本建設)

▽屋壁を併用しながら改良・補強できる新工法「2段タイ材地下施工法」(大林建設)▽大型残存型砕石A型パネルの開発(アドワン)▽合理的な鉄筋挿入のための面工(シオサイ)▽繊維シートを用いた土壌防止技術「TPRG」(佐藤工業)▽H型PC板を適用した遠視地中壁工法の開発(ピーエスエス)▽ボックスカルバートの構造を安く、早く、精度良く施工(丸山工務店)▽PP工法「RC橋脚管きぞ補強工法」(加藤組)

▽ラップトリップスの交通安全対策としての効果(NIPPON)▽LRT軌道の施工事例と課題(日本道路)▽新潟県立野球場(仮称)フィールド工事における情報化の推進(丸通建設)▽ラックの施工(フレキス)▽RC版舗装協会・福田道徳)▽パブリック消雪ブロックの開発(アドヴァン)。



平成21年度 建設分野の新技术・新工法の報告会

建設技術報告会

平成21年
開催日 10/23 ⑨
会場 朱鷺メッセ
(新潟コンベンションセンター)
聴講者募集中

～建設分野に関する新技术・新工法などを発表します～
○本報告会はCPD/CPDSの登録プログラムになっています。

スケジュール

受付 9:00～ [4階ホワイエ]
開会式 9:30～第1会場 [マリンホール]
記念講演 9:40～第1会場 [マリンホール]
技術報告 10:35～第1会場 [マリンホール]
10:35～第2会場 [中会議室301]
閉会式 16:50～第1会場 [マリンホール]

聴講無料

【交通アクセス】
●新潟駅南口 南口から徒歩15分
●新潟駅北口 バスターミナル乗換後 新潟交通17系統
●長岡駅 長岡駅西口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅南口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅北口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅西口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅東口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅南口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅北口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅西口から徒歩15分
●新潟駅 新潟駅東口から徒歩15分

主催 北陸地方建設事業推進協議会 平成21年度「建設技術報告会」実行委員会
問い合わせ先 (国土交通省 北陸地方振興局 北陸技術事務所 〒950-1101 新潟県新潟市東区310番地5 電話：伊藤) 025-231-1261 FAX 025-231-1263 E-mail hokugi-info@hrr.mlit.go.jp
ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

建設分野の新技术・新工法 「平成21年度建設技術報告会」を開催

10月23日（金）北陸地方建設事業推進協議会「平成21年度建設技術報告会」実行委員会が主催した同報告会が新潟市の新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）に於いて、約400名もの聴講者を集め開催されました。多くの方のご聴講ありがとうございました。

この「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技术・新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に平成7年度から開催され今回で14回目となっています。

開会式では主催者を代表して北陸地方整備局小池企画部長が、「この報告会は北陸地方の行政と民間で開発された新技术・新工法を報告することで、より一層の利用を図ることを目的としている。」と挨拶。

これに引き続き「行政報告」として、同局企画部矢田技術調整管理官より「入札・契約等の取組み」と題し、工事等における過去最高水準の発注実績や生産性向上及び品質確保などについて報告しました。

開会挨拶（北陸地方整備局小池企画部長）

開会式の状況

行政報告（北陸地方整備局矢田技術調整管理官）

発表状況（第一会場）

- ◆ 技術報告会は2会場に分かれ、北陸地方のニーズが高い5テーマについて36題が発表されました。
 - ① 雪に強い地盤づくり（4題）
 - ④ 環境の保全と創造（11題）
 - ② 良いものを安く（12題）
 - ⑤ ゆとりと福祉（0題）
 - ③ 自然災害からの安全確保（7題）
 - ⑥ その他（2題）

新技术パネル展示コーナー

NETIS登録技術のパフレット配布コーナー

- ◆ 聴講者の皆様に、「特に現場で採用してみたい技術や興味を持った技術及び関心の高かった技術」についてアンケートしたところ、以下の報告が上位にランクされました。
 - ★ アスファルト混合物の中温化剤「エコペーブ」（東亜道路工業㈱ 北陸支社 技術部）
 - ★ 自生型飛砂防止緑化工法はまみどりの開発と効果の検証（グリーン産業㈱ 調査設計部）
 - ★ マンホール浮上防止対策工法WIDEセパティバインド工法（藤村ヒューム管㈱ 開発部）
 - ★ PP工法（RC橋脚巻立て補強工法）（朝加賢田組 営業事業本部 技術企画推進部）
 - ★ オールシーズン型環境舗装の効果（朝加賢田組 K 技術研究所）
- ◆ 会場受付ロビーに於いては、「新技术パネル展示コーナー」及び「NETIS登録技術紹介コーナー」を併設し、29技術のパネル展示と34技術のNETIS登録技術のパンフレット配布を行い、情報収集の場として活用していただきました。
- ◆ 社会資本整備に携わる技術者の技術力向上の場として、この報告会を積極的に活用していただくため、昨年に引き続き(社)建設コンサルタント協会のCPDと(社)国土土木施工管理技術士連合会のCPDSの認定プログラムを申請し、155名の技術者に受講証明を発行しました。

最後に、本報告会の実行委員長である北陸技術事務所の佐久間事務所長から発表内容についての総評並びに閉会挨拶があり、新技术の活用・普及に向け大変有意義な報告会となりました。

総評・閉会挨拶（佐久間北陸技術事務所長）

総評・閉会式の状況

建設の施工企画 **9**
2009 SEPTEMBER No.715 JOCMA

リングネット落石防護柵設置状況(遠景)

リングネット落石防護柵による土砂捕捉事例



**防災、安全・安心な
社会基盤整備 特集**

社団法人 日本建設機械化協会

平成21年度 建設分野の新技術・新工法の報告会

**建設技術
報告会**

平成21年
開催日 **10/23**
会場 **朱鷺メッセ**
(新潟コンベンションセンター)
聴講者募集中

～建設分野に関する新技術・新工法などを発表します～
○本報告会はCPD/CPDSの登録プログラムになっています。

スケジュール

受付	9:00～	[4階ホワイエ]
開会式	9:30～第1会場	[マリンホール]
記念講演	9:40～第1会場	[マリンホール]
技術報告	10:35～第1会場	[マリンホール]
	10:35～第2会場	[中会議室301]
閉会式	16:35～第1会場	[マリンホール]

聴講無料



主催 北陸地方建設事業推進協議会 平成21年度「建設技術報告会」実行委員会
問い合わせ先 北陸支会 北陸建設情報部 北陸建設情報部 平成21年10月23日 新潟市南区山田2310番地 1階 伊藤 謙
TEL 025-231-1921 FAX 025-231-1283 E-mail info@hokokai.or.jp
ホームページアドレス <http://www.hrr.mit.go.jp/hokugil/>

第**40**号 No.40 DEC 2009

平成21年12月1日発行 第40号
〒951-8526 新潟市中央区南万代2-523 (P952)ICUP
TEL025-224-8097 FAX025-223-0866
広報委員会

北陸だより



(社)日本道路建設業協会北陸支部・北陸地区アスファルト合材協会連絡協議会・北陸建設リサイクル協会

INFORMATION CORNER 情報コーナー

建設技術報告会開催される!!

北陸地方建設事業推進協議会「平成21年度建設技術報告会」実行委員会による、「平成21年度建設技術報告会」が、平成21年10月23日(金)に朱鷺メッセを会場に約400名の参加者のもと開催された。

本報告会は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的とし開催された。報告会は平成7年度から開催され、今回で14回目の開催となる。



小池企画部長あいさつ

北陸地方整備局小池幸企画部長による、開催目的等開会の挨拶に引き続き、企画部矢田弘技術調整管理官による「入社・契約の取組み」と題して、平成21年度の事業執行等における取組みについて、行政報告が行われた。

建設技術報告は第1会場 [マリンホール (国際会議室)] と、第2会場 [中会議室301] において、36課題の報告と31技術のパネル展示が行われた。

報告会の技術テーマは①「雪に強い地域づくり」、②「良いものを安く」、③「自然災害からの安全確保」、④「環境の保全と創造」、⑤「ゆとり



佐久間北陸技術事務所長の総評

(田中 功: 東亜道路工業 記)

と福祉)、⑥「その他」の6テーマで、①4編、②12編、③6編、④12編、⑤0編、⑥2編の内容で報告された。道建協北陸支部会員社からも10編の報告があった。

また今回の報告会も、CPD・CPDS (継続教育) の認定講習であり、受講証明希望者は事務局に聞いたところによると約150名に達していた。

最後に佐久間北陸技術事務所長の総評・閉会挨拶で、今回の発表課題の特徴として社会情勢を受け、②の「良いものを安く」と③の「環境の保全と創造」のテーマが多かった事、女性の発表者が1人と寂しかったので次回からはもっと参加してもらいたい、との総評で締めくくられた。

北陸だより 第40号

21世紀 建設技術で拓く北陸の明日!!

社団法人 日本建設機械化協会北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル9F TEL 025-280-0198 FAX 025-280-0134

目次 [Top]

1. 北陸支部概要
2. 組織図
3. 行事案内
4. 試験講習会のお知らせ
5. 発行図書のご案内
6. 北陸支部会員の皆様へ
7. 北陸支部文庫・報告書
8. 除雪工法の紹介
9. 北陸サロン(ご意見箱)
10. 本部・支部リンク

応募者募集中 平成21年10月21日~22日

What's

- ・『ゆきみらい』2010年春号開催概要 | ゆきみらい 2010実行委員会
開催期間:平成22年2月18日~19日
・防災・安全・復興に関する国際シンポジウム (社)中越防災安全推進機構
開催期間:平成21年10月18日~10月19日 ホテルニューオータニ長岡(長岡)
- ・『平成21年度建設施工と建設機械化シンポジウム』(社)日本建設機械化協会
開催期間:平成21年11月10日~11月11日 機械振興会館
・『平成21年度研究開発助成対象者の募集』(社)日本建設機械化協会
公募期間:平成21年8月1日~10月31日
- ・『情報化施工研修会』(社)日本建設機械化協会
平成21年9月10日~11日 JCOM施工技術総合研究所(富士市)
・ゆきみらい2009in高岡 除雪機械展示・実演会開催報告 (社)日本建設機械化協会
平成21年2月12日~13日 高岡文化の森特設会場
・『河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル(案)』(平成20年3月) (国土交通省)
・『河川ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル(案)』(平成20年3月) (国土交通省)

社団法人 新潟県建設業協会
General Constructors Association of Niigata

Contents

- 協会概要
- 支部・会員一覧
- 書籍・書類・ビデオ
- 各種試験
- 技士会
- 監理技術者講習
- ご意見・問い合わせ
- 関係団体・リンク
- MEMBERS(会員専用)
- 退職金共済制度
- 法定外労災補償制度
- 雇用情報ネットワーク
- ワンストップサービスセンター
- 会員企業分野進出事業

(社)新潟県建設業協会
〒950-0965 新潟市中央区新光町7番地6
新潟県建設会館内
TEL.025-285-7111
FAX.025-285-7119
地図はこちら

NEWS & TOPICS 新着情報

- H21. 9.25 「平成21年度建設技術報告会」の開催について
10月29日、未発表にて開催されます。
- H21. 9.25 「防災・安全・復興に関する国際シンポジウム」の開催について
10月21~22日、新潟市産業振興センターにて開催されます。
- H21. 9. 7 「建設業新分野進出セミナー」の開催について
新潟県土木部より、「建設業と農工商連携」をテーマとした情報セミナーの開催について案内がありました。
(主催:新潟県商工会連合会 会場:南津地区公民館)
- H21. 9. 3 「Made in Niigata(土木・建設)新技術展示会・活用発表会の開催について」
新潟県土木部では県内企業が開発した土木・建築分野の新技術に対する理解を深め、建設工事での普及と活用を促進するための発表会を開催します。

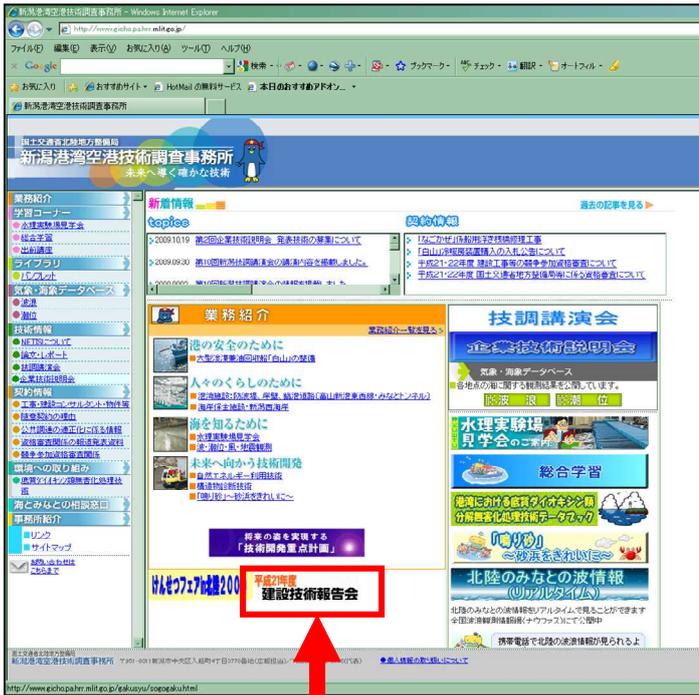
MEMBERS NEWS ※詳細を見るには会員登録が必要となります。 会員向け情報

- H21. 9.29 平成21年度工事現場見学会の開催について
技術者・技能者の「技術力の向上」及び「優良施工実力の向上」を図るとともに、工事現場における安全対策、工程の取組み等についての対応に資する目的で建設見学会を開催いたします。
- H21. 9.28 「指定管理者」の募集について
(募集市町村等:新潟県、新潟市、三条市、新潟田市、見附市、十日町市、佐渡市)
- H21. 9.25 新潟県防災局からのお知らせ
「高圧ガス使用における事故の未然防止について」
- H21. 9. 9 厚生労働省からのお知らせ
「最前線:総務省による河川案内作業における労務保護の取組について」

建設写真コンテスト 当会が開催する建設写真コンテストのページです。第13回コンテスト募集案内をアップしました!ぜひご応募ください。

(社)新潟県建設業協会は、トキめき新潟国体・トキめき新潟大会のオフィシャルサポーターです。

Copyright (C) General Constructors Association of Niigata. All rights reserved.



国土交通省 北陸技術事務所 (結果報告を掲載)

平成21年度 建設分野の新技术・新工法の報告会

建設技術報告会

北陸地方建設事業推進協議会
平成21年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技术、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催しました。本報告会は平成7年度から開催され、今回で第14回目の開催であり、約400名の参加でした。

多くの方の聴講有難うございました
～建設分野に関する新技术・新工法などを発表しました～

1. 開催状況



開会挨拶：北陸地方整備局 小池企画部長



開会式の状況

5. アンケート

次回以降の開催の参考とするため、聴講者を対象にアンケート調査を実施した。

1) 設問内容

(オモテ面)

(ウラ面)

**北陸地方建設事業推進協議会
「平成21年度建設技術報告会」アンケート**

平成21年度「建設技術報告会」にご参加頂き誠に有り難うございます。
今後の参考とさせて頂くため、アンケート調査にご協力下さい。
※回答は、記号以外の数字以外は該当する記号を○で囲んでください。

問1.

①あなたの職業・職種は。 A. 国土交通省 B. 県 C. 市町村
D. 公団 E. A～Dに属さない官公庁(機関名:)
F. 建設関連の会社(技術職) G. 建設関連の会社(事務職)
H. 建設関連の協会・団体 I. その他()

②あなたは主にどの分野のお仕事に携わっていますか。
A. 河川 B. 道路 C. 砂防 D. 港湾空港 E. 営繕
F. 上下水道 G. 共産() H. その他()

③どちらから来られましたか。 A. 新潟市内 B. 新潟市を除く新潟県内()
C. 富山県 D. 石川県 E. その他()

④この報告会を何で知りましたか。
A. 協会・団体からの案内 B. ホームページ C. チラシ
D. 国土交通省・県からの案内 E. うちこみ
F. その他()

問2.

①建設事業への新技術導入の必要性についてどうお考えですか。
A. 必要性を感じる B. 多少感じるが急務の問題ではない C. 特に問題意識はない

②上記①で「イ、必要性を感じる」または「ロ、多少感じるが急務の問題ではない」に○をされた方はどの分野に必要性を感じますか(複数回答可)。
A. 雪に強い地域づくり・・・「大雪対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等
B. 良いものを安く・・・「コスト削減技術」、「省力化技術」、「生産性向上技術」等
C. 自然災害からの安全確保・・・「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」、「危機管理技術」等
D. 環境の保全と創造・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
E. ゆとりと福祉・・・「生活者の安全健康技術」、「情報化技術」等
F. その他()

③新技術導入の障害となっているものがあるとするば、それは何ですか。
A. 経費的なもの B. 標準体系等制度的なもの C. 新技術に関する情報不足(工法選定 etc)
D. その他()

問3.

今回の報告会を聴講して、特に現場で採用してみたい技術や興味を持った技術及び関心の高かった技術を3題選んでご記入下さい。

1. 報告技術名()
会社名()

2. 報告技術名()
会社名()

3. 報告技術名()
会社名()

(裏面に続きます)

問4.

①今後もこの報告会があった方がよいと思いますか。
A. 思う B. 思わない C. 内容による

②上記①で「B. 思わない」に○をされた方はその理由を、「C. 内容による」に○をされた方はどのような内容を望まれるかをご記入下さい。

③開催時期はいつが良いと思いますか。
A. 今の時期が良い B. その他(月頃)

④開催地はどこが良いと思いますか。
A. 今回の開催地で良い B. 新潟県、富山県、石川県で順番に開催 C. その他()

⑤報告技術1題あたりの発表時間についてお聞かせ下さい。なお、発表者の方は□にシ印を記して下さい。
A. 長い B. 適当 C. 短い (□発表者)

⑥上記⑤で「A. 長い」または「C. 短い」に○をされた方は適当と思われる時間を記入下さい。
概ね 分/1題

問5.

①今回、行政報告をお聞きになって感じたこと等、意見をお聞かせ下さい。

②今後もこのような行政報告があった方がよいと思いますか。
A. 思う B. 思わない C. 内容による

③上記①で「B. 思わない」に○をされた方はその理由を、「C. 内容による」に○をされた方はどのような内容を望まれるかをご記入下さい。

問6.

この報告会の報告会形式や会場設置についてご意見がありましたらご記入下さい。

問7.

パネル展示、NETIS等登録技術パンフレット配布についてお伺いします。

①今後も新技術を紹介するパネル展示があった方がよいと思いますか。
A. 思う B. 思わない C. 内容による

②今後もNETIS等に登録されている技術パンフレットの配布を行った方がよいと思いますか。
A. 思う B. 思わない C. 内容による

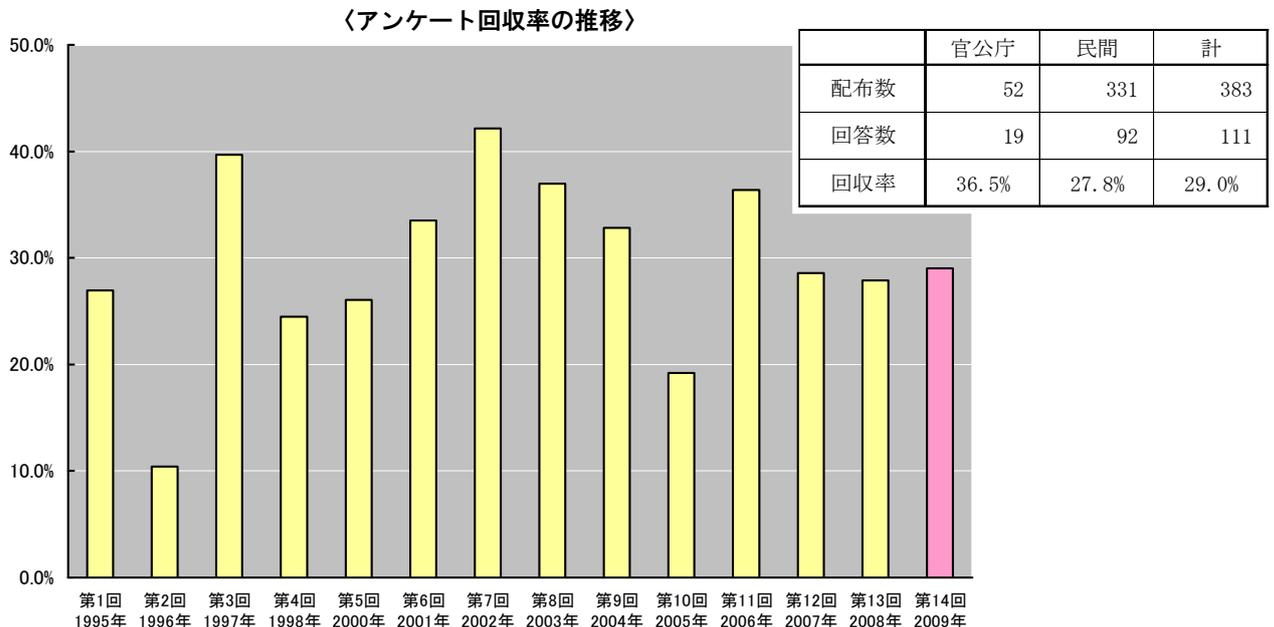
問8.

その他、この報告会について感じたことがありましたらご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。この用紙は各会場前に設置していますアンケート回収箱に投函願います。
「平成21年度建設技術報告会」実行委員会

2) 配布・回収

アンケートは受付時に報文集と共に聴講者に配布し、第1会場及び第2会場前ホワイエに設置した回収箱により回収を行った。なお、アンケート回収率は以下のとおりである。



3) アンケート結果概要

【アンケート配布・回収結果】まとめ

- ①アンケート配布数は383枚、回収数は111枚、回収率は29%。
- ②アンケート回収率の過去からの推移は前ページのグラフのとおり。

問1. 職業及び分野、参加者の住所等

- ①参加者の職業・職種は、約8割が民間。
- ②参加者の主な分野では、道路44%・河川15%・港湾空港7%の順。
- ③参加者は、新潟市内から約6割で、新潟県内・富山県内・石川県内の順。
- ④報告会を何で知ったかは、協会・団体の案内が約6割、HPは約1割。

問2. 新技術の導入及び分野、新技術導入の障害

- ①建設事業への新技術導入の必要性について、8割以上が感じている。
- ②どの分野に必要性を感じているかについては、「良いものを安く」が35%、「環境の保全と創造」が28%、「自然災害からの安全確保」が18%、「雪に強い地域づくり」が13%、「ゆとりと福祉」が5%。
- ③新技術導入の障害となっているのは、「経費的なもの」が38%、「積算体系等制度的なもの」が29%、「新技術に関する情報不足」が25%。

問3. 今回の報告会を聴講して、特に現場で採用してみたい技術や興味を持った技術

第1位・・・13票(8.7%)

『アスファルト混合物の中温化剤「エコペーブ」』（東亜道路工業(株) 北陸支社 技術部)

第2位・・・11票(7.4%)

『自生型飛砂防止緑化工法はまみどりの開発と効果の検証』（グリーン産業(株) 調査設計部)

第3位・・・8票(5.4%)

『マンホール浮上防止対策工法WIDEセフティパイプ工法』（藤村ヒューム管(株) 開発部)

第4位・・・8票(5.4%)

『PP工法（RC橋脚巻立て補強工法）』（(株)加賀田組 営業事業本部 技術企画推進部)

第5位・・・7票(4.7%)

『オールシーズン型環境舗装の効果』（(株)ガイアートT・K 技術研究所)

問4. 今後の報告会と開催時期、開催場所、発表時間

- ①今後もこの報告会があった方が良いかについて、「思う」が約9割。
- ②「民間技術のPRだけになってないか」との意見1件。
- ③開催時期について、「今の時期が良い」が約7割、「その他の時期」が2割弱。
- ④開催地について、「新潟市内」が約8割。
- ⑤報告技術1題あたりの発表時間（15分）について、「適当」が約8割。
- ⑥発表時間の「その他」の意見として、「20分」が6名。

問5. 行政報告について

- ①「行政報告」をお聞きになって感じたこと等、意見について、特徴としては下記のとおり。
 - ・現在の問題点やそれに対する取組状況が確認できて有意義であった。
 - ・行政の取組を知ることができた良かった。
 - ・新聞記事やHPでも読むより報告会で実際に説明を受けた方が理解しやすい。
 - ・パワーポイントデータの資料が欲しかった。
 - ・PPTデータをHPで公開して欲しい。
 - ・パワーポイントの字が小さく見づらい。資料の配布を。
- ②今後もこのような「行政報告」があった方が良いかについて、7割が賛同。
- ③その他の意見として、「技術の発表をもっと増やして欲しい。」「現場管理、事故対策、新技術傾向、事例紹介など。」

問6. 報告会の報告形式や会場設営などについての意見について、特徴としては下記のとおり。

- ・第1・2会場が隣合わせの方が各自が色々な報告が聞けて良いのでは。
- ・机がもっとあった方が良い。
- ・第一会場のドア音がうるさい。
- ・駐車場が無料の会場にしてほしい。
- ・とても良い。関係役所、会社がもっと集まるように宣伝を。
- ・弁当の販売を希望する。

問7. パネル展示、NETIS登録技術パンフレット配布

- ①新技術を紹介するパネル展示については、「あった方が良い」が73%。
- ②技術パンフレットについては、「配布を行った方が良い」が75%。

問8. 報告会について感じたことについて、特徴としては以下のとおり。

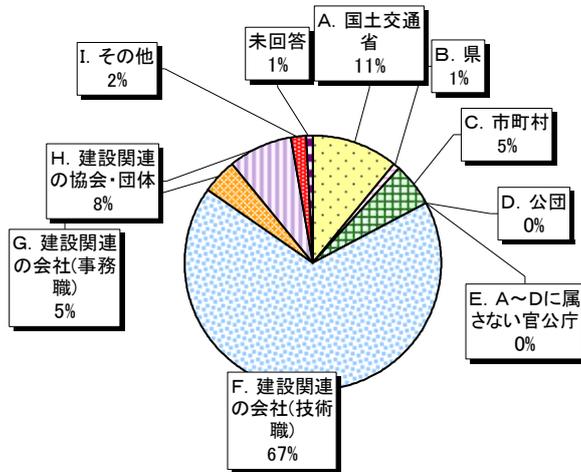
- ・初めて参加したが、思ったより良かった。
- ・継続は力です。今後とも続けていただきたい。
- ・もう少し内容が濃いものを期待する。
- ・パンフのラックの変更（パンフの上部しか見えない、フェアで使用した物の方が良い）
- ・もっと数多くの技術を展示し、パンフ位は登録全技術分を用意・配布した方が良い。
- ・展示等を大がかりにして一般の方にも見ていただければ
- ・もっと事前PRをしてもらって多くの技術者の参加があれば良かったと考えます。
- ・聴講者が少ないのもっと宣伝してほしい。

4) 設問別集計結果

各設問の集計結果は以下のとおりである。

問 1

①あなたの職業・職種は。

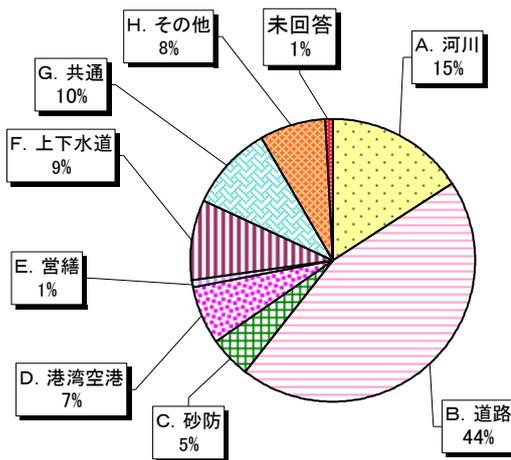


A. 国土交通省	12
B. 県	1
C. 市町村	6
D. 公団	0
E. A～Dに属さない官公庁	0
F. 建設関連の会社(技術職)	75
G. 建設関連の会社(事務職)	5
H. 建設関連の協会・団体	9
I. その他	2
未回答	1
計	111

I. その他(2)の内訳

- ・商社(1)
- ・未記入(1)

②あなたは主にどの分野のお仕事に携わっていますか。(複数回答有り)



A. 河川	21
B. 道路	59
C. 砂防	6
D. 港湾空港	9
E. 営繕	1
F. 上下水道	12
G. 共通	13
H. その他	10
未回答	1
計	132

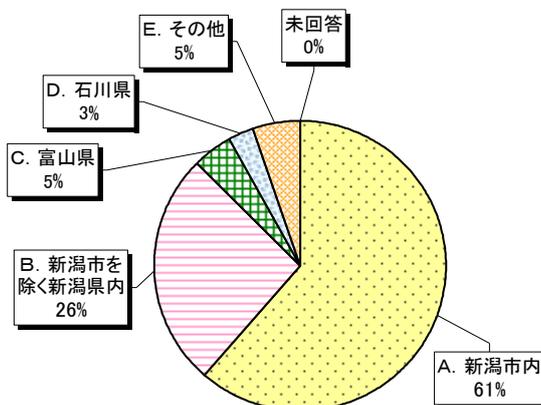
G. 共通(13)の内訳

- ・防災(2)
- ・法面(1)
- ・調査(1)
- ・造園(1)
- ・営業(1)
- ・未記入(7)

H. その他(10)の内訳

- ・造園(1)
- ・公園、緑地(1)
- ・電気工事(1)
- ・コンサル(1)
- ・営業(2)
- ・全般(1)
- ・法面(1)
- ・未記入(2)

③どちらから来られましたか。



A. 新潟市内	68
B. 新潟市を除く新潟県内	29
C. 富山県	5
D. 石川県	3
E. その他	6
未回答	0
計	111

B. 新潟市を除く新潟県内(29)の内訳

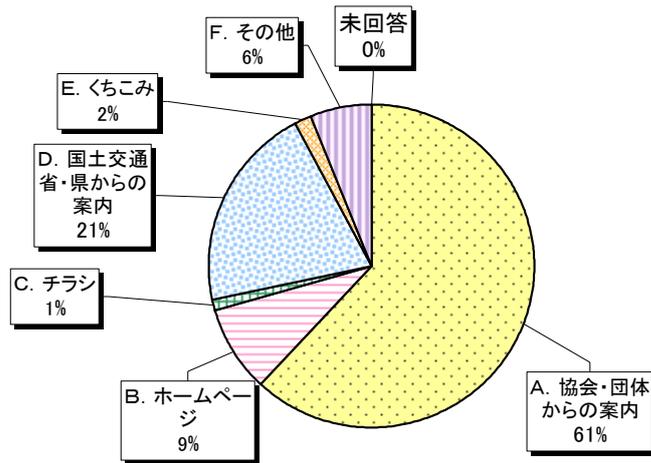
- ・燕市(1)
- ・新発田市(1)
- ・長岡市(5)
- ・柏崎市(1)
- ・佐渡市(1)
- ・未記入(11)
- ・村上市(1)
- ・糸魚川市(3)
- ・上越市(3)
- ・湯沢町(1)
- ・阿賀野市(1)

E. その他(6)の内訳

- ・福島県(1)
- ・埼玉県(1)
- ・東京都(3)
- ・未記入(1)

問 1

④この報告会を何で知りましたか。(複数回答有り)

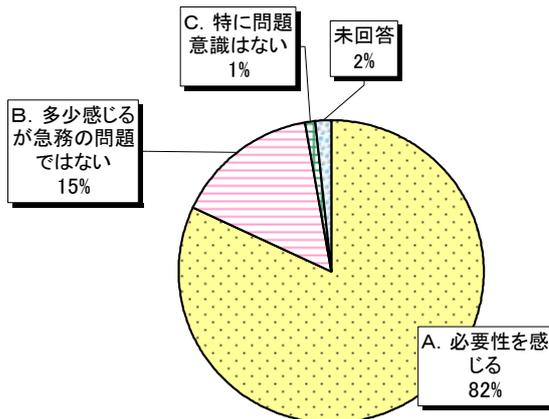


A. 協会・団体からの案内	72
B. ホームページ	10
C. チラシ	1
D. 国土交通省・県からの案内	24
E. くちこみ	2
F. その他	7
未回答	0
計	116

F. その他 (7) の内訳
 ・建設系CPD協議会 (1)
 ・会社 (4)
 ・新潟市 (1)
 ・未記入 (1)

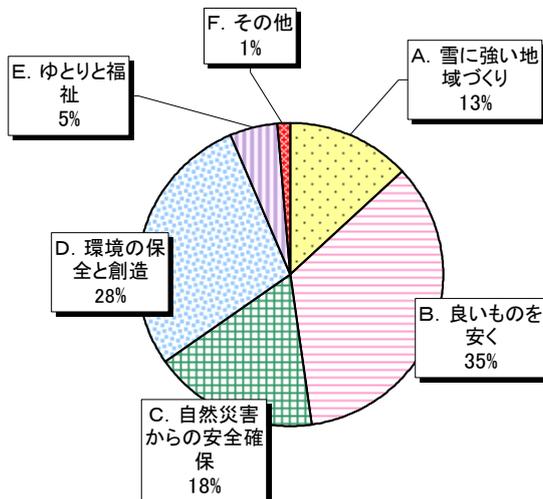
問 2

①建設事業への新技術導入の必要性についてどう思われますか。



A. 必要性を感じる	91
B. 多少感じるが急務の問題ではない	17
C. 特に問題意識はない	1
未回答	2
計	111

②どの分野に必要性を感じますか？(複数回答有り)

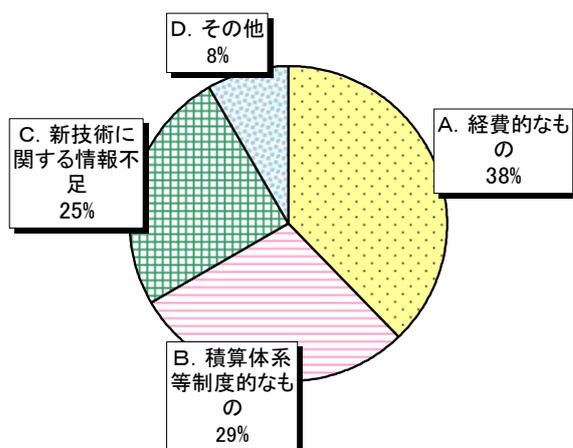


A. 雪に強い地域づくり	31
B. 良いものを安く	82
C. 自然災害からの安全確保	42
D. 環境の保全と創造	67
E. ゆとりと福祉	12
F. その他	3
計	237

F. その他 (3) の内訳
 ・他分野の技術の応用 (1)
 ・従事者高齢化の対策 (1)
 ・道路族議員の保護 (1)

問2

③新技術導入の障害となっているものがあるとすれば、それは何ですか。（複数回答有り）



A. 経費的なもの	50
B. 積算体系等制度的なもの	38
C. 新技術に関する情報不足	33
D. その他	11
計	132

D. その他（11）の内容

- ・受発注者両方の新技術に対する理解度等の向上（1）
- ・新技術の実績が少ないと設計で採用してもらえない。（1）
- ・信頼性。公共物への使用なので、重要施設へは安易に使えない。（1）
- ・発注者の姿勢と会計検査院（1）
- ・効果の持続性が不明（1）
- ・落札率の低下から技術開発経費も縮小されたきた。（1）
- ・実績重視主義（1）
- ・民間開発新技術を官公庁発注者が採用したがない。
内容を良く理解していないため総合評価においても技術点が低い。（1）
- ・やる気の不足（1）
- ・民主党の台頭（1）
- ・未記入（1）

問3

今回の報告会を聴講して、特に現場で採用してみたい技術や興味を持った技術及び関心の高かった技術を3題選んでご記入下さい。

第1位・・・13票(8.7%)

『アスファルト混合物の中温化剤「エコペープ」』（東亜道路工業(株) 北陸支社 技術部)

第2位・・・11票(7.4%)

『自生型飛砂防止緑化工法はまみどりの開発と効果の検証』（グリーン産業(株) 調査設計部)

第3位・・・8票(5.4%)

『マンホール浮上防止対策工法WIDEセフティパイプ工法』（藤村ヒューム管(株) 開発部)

第4位・・・8票(5.4%)

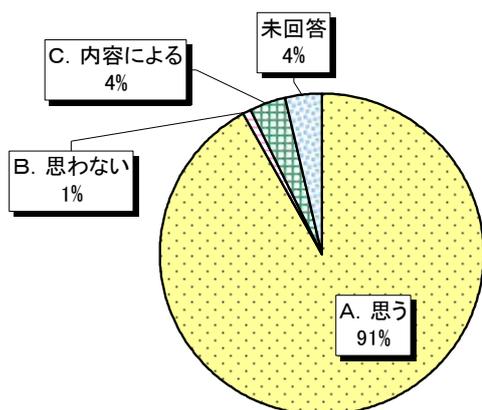
『PP工法（RC橋脚巻立て補強工法）』（(株)加賀田組 営業事業本部 技術企画推進部)

第5位・・・7票(4.7%)

『オールシーズン型環境舗装の効果』（(株)ガイアートT・K 技術研究所)

問4

①今後もこの報告会があった方が良いと思いますか。



A. 思う	102
B. 思わない	1
C. 内容による	4
未回答	4
計	111

「A. 思う」方の意見

・今回の報告技術を展開させられるような試験施工の発注を検討下さい。(1)

②上記①で「B. 思わない」に○をされた方はその理由を、「C. 内容による」に○を付けた方はどのような内容を望まれますか？

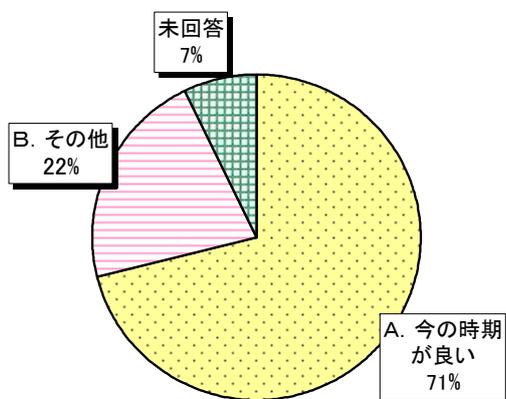
■「B. 思わない」に○を付けた方(1)の理由

・類似の発表会が多い。(1)

■「C. 内容による」に○を付けた方(4)の内容

・民間技術のPRだけになってないか。(1)
・未記入(3)

③開催時期はいつが良いと思いますか。

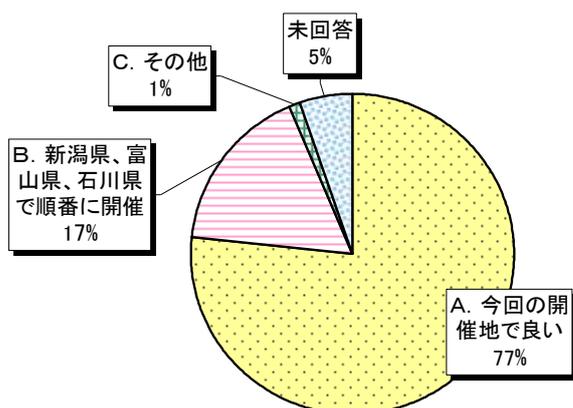


A. 今の時期が良い	79
B. その他	24
未回答	8
計	111

B. その他(24)の内訳

・1月(1) ・4月(4)
 ・4・5月(2) ・4～6月(1)
 ・5月(5) ・4～9月(1)
 ・6月(2) ・5・6月(2)
 ・7月(1) ・6～7月(1)
 ・9月(2) ・11月(2)

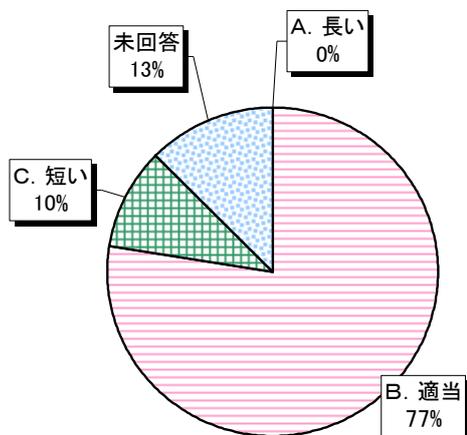
④開催地についてどのようにお考えですか。



A. 今回の開催地で良い	85
B. 新潟県、富山県、石川県で順番に開催	19
C. その他	1
未回答	6
計	111

問 4

⑤報告技術 1 題あたりの発表時間についてお聞かせ下さい。



A. 長い	0
B. 適当	86
C. 短い	11
未回答	14
計	111

⑥上記⑤で「A. 長い」または「C. 短い」に○をされた方は適当と思われる時間をご記入下さい。

■ 「C. 短い」に○をされた方（11）の適当な時間

- ・ 20分（6）
- ・ 25分（2）
- ・ 25～30分（1）
- ・ 30分（1）
- ・ 未記入（1）

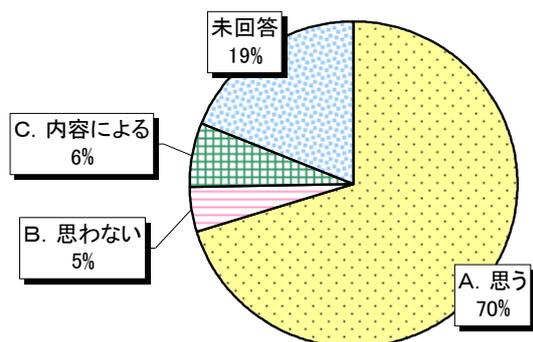
問5

①「行政報告」をお聞きになって感じたこと等、意見をお聞かせ下さい。

回答内容	回答数(内訳)
<p>■「行政報告」内容に関する感想等、意見・要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の問題点やそれに対する取組状況が確認できて有意義であった 4 (官・民間) ・ 行政の取組を知ることができた良かった 3 (民間) ・ 最近の傾向について聞くことができて良かった 1 (官) ・ 入札、契約の現状が理解できた。低入札が多い 1 (民間) ・ 新聞記事やHPでも読むより報告会で実際に説明を受けた方が理解しやすい 2 (民間) ・ 説明が判りやすかった 1 (民間) ・ 興味深い内容だった 2 (民間) ・ 低入対策や地元企業の発注について色々と対策をとっていることが良く分かったが、今後も更なる取組により良い対策が向上することを願っている 1 (民間) ・ 新技術開発と契約に関して興味があった 1 (民間) ・ 地域貢献度が重要であると感じた。情報化施工への会社全体の取組が必要だと感じた 1 (民間) ・ 技術開発・工事一体は、県・市町村レベルにも適用されれば面白いと思った 1 (民間) ・ 北陸地整での総合評価落札方式の過度なコスト負担の提案についてもっと説明して欲しい。低入札でも提案の点数がわかるようにして欲しい 1 (民間) ・ 情報化施工は緊急に必要な施策とは思わない 1 (民間) ・ 発注方法がよく変わるが、究極の目標・あるべき姿が見えない 1 (民間) ・ 業界の方の参加者は現場技術者が多く、契約制度について興味深く聞ける話題ではなかった。内容を工夫された方が良いと感じた 1 (官) ・ 今回の対策でコンサルの低入は減るのか？工事並みのものが必要では？ 1 (民間) ・ 説明内容と現実が異なる点がある。整備局により考え方が違う。請負業者と発注者は対等と言葉では言うが？ 1 (民間) 	
<p>■「行政報告」時間等に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問時間を設置できないか。 1 (民間) ・ 報告時間が長い 2 (民間) ・ 年度終り・初めの方が年間を通した報告が聞けるので時期の設定を考えたほうが良い 1 (民間) 	
<p>■「行政報告」へのその他の要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PPTデータをHPで公開して欲しい 2 (民間) ・ パワーポイントデータの資料が欲しかった。 3 (官・民間) ・ パワーポイントの字が小さく見づらい。資料の配布を 2 (官・民間) 	

問5

②今後もこのような「行政報告」があった方が良いと思いますか。



A. 思う	78
B. 思わない	5
C. 内容による	7
未回答	21
計	111

③上記②で「B. 思わない」に○をされた方はその理由を、「C. 内容による」に○をされた方はどのような内容を望まれるかをご記入下さい。

■「B. 思わない」に○をされた方（5）の理由

- ・パワポが非常に見にくい。（1）
- ・技術の発表をもっと増やして欲しい。（1）
- ・報告して変わるのか不安（1）
- ・必要なし（1）
- ・未記入（1）

■「C. 内容による」に○をされた方（7）の内容

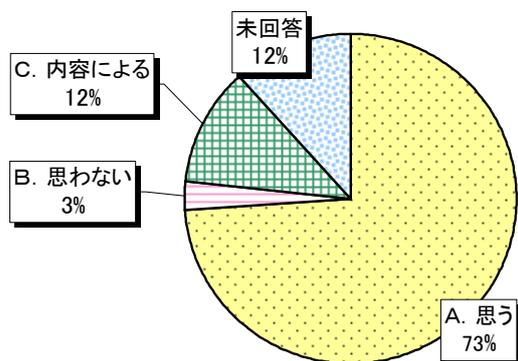
- ・現場管理、事故対策、新技術傾向、事例紹介など。（1）
- ・毎年違う傾向の話題の提供（1）
- ・未記入（5）

問6. この報告会の報告形式や会場設営などについての意見

回答内容	回答数(内訳)
■報告時間・質疑応答時間に関するもの <ul style="list-style-type: none"> ・このままで良い ・グループ間に休憩時間を入れて欲しい 	<p>3 (官・民間)</p> <p>1 (民間)</p>
■報告内容に関するもの <ul style="list-style-type: none"> ・さらに簡略化された説明であれば良い。「この理由」で「こう変化した」または「制度化した」 	1 (民間)
■報告形式に関するもの <ul style="list-style-type: none"> ・まとめて質疑する等よかった。報告は発注者や協会等からの推薦技術があると良い ・2会場に分かれて同時に行われているが、発表数(種目)を厳選できないのか ・第1・2会場が隣合わせの方が各自が色々な報告が聞けて良いのでは 	<p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>2 (民間)</p>
■会場設備に関するもの <ul style="list-style-type: none"> ・机がもっとあった方が良い。また、ホールに室内圧があるので出入りの際のドア音が非常にうるさく、発表者も気になったのではないか ・第一会場のドア音がうるさい。人の出入りが多い。ドア開放したままではダメなのか検討して欲しい ・テーブルを置いて欲しい ・1会場はもう少し小さくした方が質問が出やすい ・駐車場が無料の会場にしてほしい 	<p>2 (民間)</p> <p>1 (官)</p> <p>2 (民間)</p> <p>1 (官)</p> <p>2 (民間)</p>
■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな運営で大変良かった ・とても良い。関係役所、会社がもっと集まるように宣伝を ・弁当の販売を希望する ・周知のために資料配布をお願いしたい。HP等があれば公表先の提示をお願いしたい ・受付がたくさん人がいすぎて、たらい回しにされた ・雑である ・活気が欲しい 	<p>1 (民間)</p>

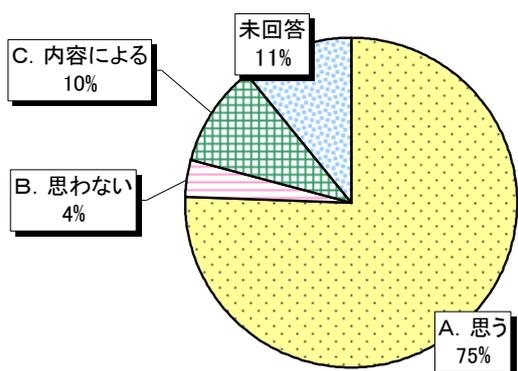
問 7

① 今後も新技術を紹介するパネル展示があった方が良いと思いますか。



A. 思う	82
B. 思わない	3
C. 内容による	13
未回答	13
計	111

② 今後もNETIS等に登録されている技術パンフレットの配布を行った方が良いと思いますか。



A. 思う	84
B. 思わない	4
C. 内容による	11
未回答	12
計	111

問8 . その他、この報告会について感じたこと

回答内容	回答数(内訳)
<p>■報告に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の土木技術が地球温暖化対策に向かっていることが分かった ・ 色々な会社が研究している成果・熱意が感じられた ・ 良好と思う ・ 初めて参加したが、思ったより良かった ・ 継続は力です。今後とも続けていただきたい ・ もう少し内容が濃いものを期待する ・ 時間が限られているためか早口で資料もないためわかりづらい 	<p>1 (民間)</p>
<p>■展示及び配付資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンプが小さくて見づらい。パンプの表面が一目でわかる展示にして下さい ・ 全体的に字が小さすぎる ・ パンプのラックの変更(パンプの上部しか見えない、フェアで使用した物の方が良い) ・ 技術資料がなかった。有料でも必要 ・ もっと数多くの技術を展示し、パンプ位は登録全技術分を用意・配布した方が良い ・ 展示等を大がかりにして一般の方にも見ていただければ 	<p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p>
<p>■開催時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けんせつフェアと同日同会場の実施希望。論文集が欲しい ・ 遠方からの参加者を考慮し、CPDS 証明の受領が遅くなることから技術フェアの前に実施できないか 	<p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p>
<p>■広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴講者が少ないのもっと宣伝してほしい ・ もっと広報活動を積極的にした方が良い。開催を知らない自治体の技術者がいた。北陸地方はまだまだ雪国ハンデが多い。頑張って予算確保して整備に取り組んでもらいたい ・ とても良かったと思う。もっと事前PRをしてもらって多くの技術者の参加があれば良かったと考えます ・ 一般の人へのアピールが不足していませんか？ ・ NETIS の登録数が多すぎるため、今回の発表事項を後日ネットで調べる時に見つけられるかわからない 	<p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (民間)</p>
<p>■運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昼食の販売があった方が良い、食堂は混む ・ 報告中の人の出入りが多く、特に扉の開閉時の音が気になった ・ 第一会場の出入りの戸の開閉時の音が気になり集中して聞けない。運営スタッフの態度最悪！！ ・ スタッフその他関係者の皆様、ご苦労様でした 	<p>1 (民間)</p> <p>1 (官)</p> <p>1 (民間)</p> <p>1 (官)</p>